

# 消防年報

令和2年(2020年)版



鎌倉市消防本部

## は じ め に

この年報は、令和2年(2020年)中の鎌倉市消防本部の実態を紹介するために、消防活動等のあらましを集録したものです。

統計の主なものは、令和3年(2021年)4月1日現在で調査しましたが火災・救急・その他一部の統計については、歴年によって表しました。

本市の消防について、ご理解いただくうえでの資料として少しでもお役にたてば幸いです。

令和3年(2021年)9月

鎌倉市消防本部

## 鎌倉市民憲章

昭和48年11月3日制定

### 前文

鎌倉は、海と山の美しい自然環境とゆたかな歴史的遺産をもつ古都であり、わたくしたち市民のふるさとです。すでに平和都市であることを宣言したわたくしたちは、平和を信条とし、世界の国々との友好に努めるとともに、わたくしたちの鎌倉がその風格を保ち、さらに高度の文化都市として発展することを願い、ここに市民憲章を定めます。

### 本文

1. わたくしたちは、お互いの友愛と連帯意識を深め、すすんで市政に参加し、住民自治を確立します。
1. わたくしたちは、健康でゆたかな市民生活をより向上させるため、教育・文化・福祉の充実に努めます。
1. わたくしたちは、鎌倉の歴史的遺産と自然及び生活環境を破壊から守り、責任をもってこれを後世に伝えます。
1. わたくしたちは、各地域それぞれの特性を生かし、調和と活力のあるまちづくりに努めます。
1. わたくしたちは、鎌倉が世界の鎌倉であることを誇りとし、訪れる人々に良識と善意をもって接します。

## 平和都市宣言

昭和33年8月10日

われわれは、日本国憲法を貫く平和精神に基いて、核兵器の禁止と世界恒久平和の確立のために、全世界の人々と相協力してその実現を期する。多くの歴史的遺跡と文化的遺産を持つ鎌倉市は、ここに永久に平和都市であることを宣言する。

## 目 次

鎌倉市の概要	1
鎌倉市消防の沿革	2～18
鎌倉市の主な火災・災害等	19～23
鎌倉市消防機構図	24
事務分掌	25
鎌倉市の消防力の整備指針・消防水利の基準	26
鎌倉市消防機関分布図	27
消防庁舎概況	28～30
〔消防総務〕	
消防費の割合・消防費歳入予算（令和3年度）	31
消防費歳出予算（令和3年度）	32
職員階級別状況	33, 34
職員の配置状況、居住区域状況	35
職員の階級別年齢、階級別勤続年数	36
職員の教養状況（過去5年間）	37
〔警防救急〕	
火災件数の推移、火災件数推移表	38
火災件数（月別）（過去5年間）	39
火災件数（原因別）（過去5年間）	40
火災件数（原因別）比較表（令和2年中）	40
火災出動状況（月別）（令和2年中）	40
火災被害状況（過去5年間）	41, 42
救助出動状況（過去5年間）	43
消防水利統計	44
車両配置表	45, 46
車種別一覧表	46
主な消防機器の配備状況	47
消防相互応援に関する協定等	48
高層建築物へリコプター緊急離着陸場等	48
救急出動の推移	49
出動件数及び市民利用度推移表	49
救急出動状況（月別）（令和2年中）	50
救急出動状況（地域別）（令和2年中）	51
救急出動状況（時間別）（令和2年中）	52
救急事故種別の割合	52
時間別救急件数	52
搬送人員状況（程度別・収容医療機関別）（令和2年中）	53
搬送人員状況（年齢別）（令和2年中）	54
年齢別搬送人員の割合	54
男女別搬送人員の割合	54
程度別搬送人員の割合	54
救命講習等実施状況	55
主な救急資機材の配置状況	56
AED設置場所（公共施設）	57
AED設置場所（コンビニ）	58
救急協力事業所	59, 60

〔 指 令 情 報 〕	
高機能消防指令センター機器・通信機器一覧表 .....	61
無線通信施設一覧表 .....	62
119番受信状況 (令和2年中) .....	63
年間気象観測データ (令和2年中) .....	64～66
高機能消防指令センターネットワーク図 .....	67～69
〔 予 防 〕	
防火対象物及び防火管理者選任状況 .....	70
中高層建築物一覧表 .....	71
建築確認申請消防同意状況 (業態別) .....	72
建築確認申請消防同意状況 (月別) .....	73
建築確認申請消防通知状況 .....	73
建築確認申請消防通知状況 (月別) .....	73
危険物施設数及び類別状況 .....	74
危険物施設の許可・完成検査及び廃止届の状況 .....	74
危険物施設管内別状況 .....	74
文化財保有社寺等防災施設 .....	75, 76
動力消防ポンプ現有自衛消防隊一覧 .....	77
市火災予防条例等に基づく諸届出の事務取扱状況 .....	78
〔 消 防 団 〕	
消防団現況 .....	79
消防団員の年齢及び実員・勤続年数 .....	80
消防団員就業状況 .....	81
消防関係記念日・年中行事 .....	82

# 鎌倉市の概要

鎌倉市は、神奈川県南東部に、また三浦半島の基部にあたり、東に逗子市、西に藤沢市、南に相模湾が開け、北は横浜市と接しています。

静かな海と緑の山々に囲まれて、その中に神社仏閣がいたるところに見られ、自然と歴史が調和された街でもあります。面積は、39.67km<sup>2</sup>

令和3年（2021年）4月1日現在の人口は、172,932人 世帯数は、76,217世帯です。



昭和14年11月3日鎌倉郡鎌倉町と腰越町が合併し鎌倉市として誕生、その後昭和23年に深沢村と大船町を加えて現在の鎌倉市となっています。

現在の鎌倉市を大きく分けると5地域に分けることができます。

海水浴場としても有名で古都鎌倉を代表する歴史的遺産が多くある鎌倉地域。  
漁港地として栄え、今や住宅地に変わりつつある腰越地域。

柏尾川沿いに広がっていた田園風景が、宅地や工場地帯へと変容しつつある深沢地域。

大船駅東口を中心に商工業の活発な大船地域。

近郊農業と、首都圏へのベッドタウンとして年々人口が増加している玉縄地域といった5つの特色のある町です。

そして、長い歴史と静かな町並み、鎌倉を愛した先人達の足跡を大切に守り伝えるために、昭和41年京都・奈良と共に古都保存法を制定するなど、歴史的遺産と自然環境の保護・保全に全力をあげています。

また、『平和を信条とし、鎌倉の風格を保ち高度の文化を創造するまち』をテーマにして、昭和55年度から昭和60年度まで第1次鎌倉市総合計画を実施し、昭和61年度から平成7年度までの10年間は、第2次鎌倉市総合計画が実施されました。平成8年度から令和7年度（2025年度）までは、『古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち』を将来都市像に掲げた第3次鎌倉市総合計画が実施されています。

# 鎌倉市消防の沿革

年 月 日	事 項
昭和13年 8月13日	従来の鎌倉町消防組組織を一部改正、鎌倉町小町66番地に消防組常備消防部を設置した。(部長以下19名)
14年 4月 1日	警防団令公布により、鎌倉町警防団常備消防部と改称した。
11月 3日	鎌倉郡鎌倉町と腰越町が合併し、市制を敷く。
17年 3月 1日	腰越土橋152番地に分駐所を設置した。(班長以下6名)
20年 6月 1日	太平洋戦争の激烈化により本土空襲に備えて、官設消防(横浜)から消防士補以下16名の消防官と消防車2台の応援を得た。
21年10月 1日	特設消防署として、県に移管した。
22年 2月15日	特設消防署規程の改正により、常備消防部を廃止し、新たに神奈川県鎌倉消防署及び腰越出張所を開設した。人員、署長(消防士 小山太一郎)以下49名、車両、消防自動車5台・三輪消防車2台、計7台であった。
6月18日	鎌倉市消防団設置条例が制定された。
10月 1日	鎌倉市鎌倉消防団団長に中村俊雄が就任した。
23年 1月 1日	深沢村を合併し、深沢消防団団長に大木正司が就任した。
3月 7日	官設消防は、あげて自治体に移管となり、警察から独立し、鎌倉市消防本部並びに下部組織として鎌倉消防署及び腰越出張所と改称し、自治体消防として発足した。人員、消防長(初代 小山太一郎)以下72名、消防車両7台をもって業務を開始した。
4月20日	長谷出張所を長谷246番地に新設し、消防曹長以下10名、消防車両1台をもって業務を開始した。
6月 1日	大船町を合併し、大船消防団団長に山中常吉が就任した。
8月 1日	職員の階級名の改称が行われ、消防司令は「消防司令長」に、消防士・機関士は「消防司令」に、消防士補・機関士補は「消防司令補」に、消防曹長は「消防士長」に、消防手は「消防士」に改められた。
24年 8月29日	鎌倉市職員定数条例が制定され、消防機関に常時勤務する職員の定数を127人とした。
25年 5月 3日	大船地区火災警防のため、台638番地に大船消防署を新設し、

年 月 日	事 項
	消防司令補以下15名、消防車2台をもって業務を開始した。
	腰越出張所を分署に昇格させ、分署長以下13名を配置し、業務の充実を図った。
昭和25年10月25日	消防本部の機構改革を行い、次長制を廃止し、課長制をしき2課6係とした。 総務課 経理係・教養監察係・庶務係 消防課 機関係・消防係・予防係
27年 5月 1日	都市等級査定の結果、4級都市に格付けされた。
8月 1日	鎌倉市深沢消防団団長に矢沢賢一が就任した。
28年 2月20日	鎌倉市鎌倉消防団団長に小坂喜男が就任した。
3月 3日	自治体消防5周年記念に際し、本市消防本部・消防団は、国家消防本部から優良消防機関として表彰旗を授与された。
8月 1日	鎌倉消防署に救急車1台を配置して、救急業務を開始した。
8月27日	消防職員の定数は、110人となった。
29年12月 1日	深沢分遣所を常盤137番地に新設開庁した。
31年 2月 1日	鎌倉市大船消防団団長に小泉孫好が就任した。
33年 1月 7日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、長谷出張所に配置した。
35年 4月 1日	鎌倉・大船・深沢の3団を統合し、鎌倉市消防団として発足し、初代団長に小坂喜男が就任した。
36年10月25日	消防長 小山太一郎が病没した。享年52歳。 正五位勲五等瑞宝章を追贈された。消防長職務代理者に消防課長 消防司令 矢地 翁が任命された。
11月 1日	消防司令 矢地 翁は、消防司令長に昇任し、二代目消防長に就任した。
11月27日	消防用無線電話（周波数変調式150MHz帯）を設置した。
37年 2月22日	消防本部機構を改め2課4係とした。 総務課 管理係・経理係 消防課 警防係・予防係
4月 1日	二代目消防団長に副団長 小泉孫好が就任した。
11月 1日	階級準則の改正に基づき、消防長 消防司令長 矢地 翁は消防監に就任した。
12月 1日	腰越分署を腰越地区の都市進展状況に鑑み、腰越支所との合

年 月 日	事 項
	同庁舎に移転した。
昭和38年 4月 1日	消防職員の定数は、113人となった。
38年 6月 1日	深沢分遣所を出張所に昇格させ、従来2名配置（機関員のみ）を8名配置とした。
7月 1日	市長の諮問機関として消防審議会が設置され、本市消防の改善と適正な運営を図ることとし、12月14日に答申された。
39年10月11日	玉縄消防隊を玉縄地区に設置した。
12月17日	消防課長 消防司令 城田繁蔵（51歳）が執務中病没し、同日付で消防司令長に昇進し、正七位勲七等瑞宝章を追贈された。
40年 4月 1日	三代目消防団長に副団長 小磯茂夫が就任した。
	消防職員の定数は、118人となった。
41年 4月 1日	消防職員の定数は、123人となった。
11月14日	日本損害保険協会から水槽付消防車1台の寄贈を受け、長谷出張所に配置した。
42年 4月 1日	四代目消防団長に副団長 桶川長次が就任した。
	消防職員の定数は、129人となった。
5月 1日	消防課に防災主査を置き、防災事務を開始した。
5月13日	大船消防署に予備の救急車を改装して配置し、大船地区の救急業務を開始した。
6月10日	鎌倉市消防特別救助隊（レンジャー隊）が発足した。
43年 2月 6日	消防司令 勝又福三郎（47歳）が病没し、同日付で消防司令長に昇進し、正七位勲七等瑞宝章を追贈された。
4月 1日	消防職員の定数は、138人となった。
4月 8日	鎌倉市危険物安全協会が発足した。
10月 1日	消防副士長制度を採用した。
44年 4月 1日	五代目消防団長に副団長 松井四郎が就任した。
	消防職員の定数は、143人となった。
8月20日	第29分団器具置場を建設した。
45年 3月31日	第28分団器具置場を建設した。

年 月 日	事 項
昭和45年 5月15日	大船消防賛助会が解散式を行った。
5月22日	深沢消防後援会が解散式を行った。
6月 1日	鎌倉消防賛助会が解散式を行った。
6月 2日	鎌倉消防署救助隊に救助工作車を配置し、救助活動の充実を図った。
12月 1日	鎌倉市消防団第10分団を第11分団に統合した。
46年 3月30日	第23分団器具置場を建設した。
4月 1日	消防職員の定数は、144人となった。
8月17日	救急車の従来のサイレンを廃止して、法令に基づく電子サイレン（ピー・ポー式）に改めた。
9月 2日	消防長 消防監 矢地 翁は、鎌倉市参事となり総務課付となった。消防司令長 楠山守男は、消防監に昇任し、三代目消防長に就任した。
9月17日	消防本部・消防団が防災功労団体として自治省消防庁長官表彰を受賞した。
47年 3月27日	鎌倉市地震対策部会が、鎌倉市助役 杉山誠一を部会長に委員13名をもって発足した。
4月 1日	消防職員の定数は、154人となった。
5月 1日	鎌倉市消防本部組織等規則を一部改正し、消防課を警防課に改めた。
7月 1日	消防本部の機構を一部改め、防災担当を新設し、主幹以下3名をもって事務を開始した。
7月15日	第2分団器具置場を建設した。
12月 7日	地震対策用街頭消火器としてA B C粉末消火器（6.5kg入）50本を市内に分散配置した。
12月26日	大船消防署に化学消防ポンプ自動車を配置した。
48年 4月 1日	六代目消防団長に副団長 岡田伊三郎が就任した。
	消防職員の定数は、159人となった。
4月 5日	大船消防署玉縄出張所庁舎完成に伴い極楽寺3-2-9にあった消防寮を玉縄出張所庁舎に移転した。
4月11日	大船消防署玉縄出張所庁舎新設とともに玉縄消防隊を玉縄出

年 月 日	事 項
	張所に昇格させ、所長以下10名を配置し、消防業務を開始した。
昭和48年 7月20日	台風6号の警戒のため消防車で巡回中、同乗中の団員が車両のバウンドにより転落、後頭部を強打し殉職した。同日、勲7等に叙せられ瑞宝章を授与された。なお、2階級特進し部長に昇任するとともに、鎌倉市長から消防功労章がおくられた。
8月 1日	第9分団器具置場を建設した。
9月27日	第16分団器具置場を建設した。
49年 3月30日	第27分団器具置場を建設した。
4月 1日	消防職員の定数は、177人となった。
6月 1日	第18分団器具置場を建設した。
6月10日	水害防災用としてゴムボート20隻を購入し、鎌倉消防署に5隻、大船消防署に3隻、水害多発分団に12隻を分散配置した。また、折りたたみ式ボート1隻を購入し、鎌倉消防署に配置した。
9月20日	消防本部・鎌倉消防署合同庁舎が完成した。  鎌倉消防署が新庁舎で業務を開始した。
	消防本部警防課に警防通信係を新設し、9名を配置し、通信業務を開始した。複信式救急波の割当を受けた。
9月22日	消防本部が、新庁舎に移転し、業務を開始した。
11月15日	コンピューターによる医療情報の業務を開始した。
11月25日	鎌倉消防署に梯子付消防ポンプ自動車（24m級）を配置した。
50年 1月12日	消防出初式を消防始式と改めた。
1月20日	地震時における広域避難場所17か所を鎌倉市防災会議で決定した。
3月28日	第15分団器具置場を建設した。
3月29日	第17分団器具置場を建設した。
4月 1日	警防課に消防士長以下4名を増員し、予防査察制度の一元化を図った。  鎌倉市液化石油ガス販売業者防火協力会が発足した。
11月 1日	防災担当を課制に改め防災課とし、市長部局から2名着任し

年 月 日	事 項
	2係で防災業務の強化を図った。
	消防職員の定数は、179人となった。
昭和50年12月 1日	本市特有の谷戸火災対策としてホース延長車を職員の考案により作成し、第1号車を鎌倉消防署に配置した。
12月11日	日本損害保険協会から水槽付消防車1台の寄贈を受け、鎌倉消防署に配置した。
51年 3月30日	非常警報施設の運用を開始し、防災情報伝達業務の迅速化を図った。
3月31日	第12分団器具置場を建設した。
5月29日	腰越分署に救急車を配置し、腰越地区及び深沢地区の救急業務の充実を図った。
12月27日	消防職員の定数は、191人となった。
52年 4月 1日	七代目消防団長に副団長 今村一郎が就任した。
7月15日	警防課に査察係を新設するとともに査察車1台と係長以下6名を配置し査察事務を開始した。
53年 2月17日	警防課に査察車1台を増車し、計2台を配置し査察事務の効率化を図った。
3月30日	第1分団器具置場を建設した。
4月 1日	消防職員の定数は、197人となった。
5月 1日	鎌倉消防署浄明寺出張所を新設し、消防車1台と12名を配置し業務を開始した。
11月16日	第24分団器具置場を建設した。
54年 1月 1日	消防本部組織等規則の改正に基づき、消防長 消防監 楠山守男は、消防正監に昇任した。同時に次長制をしき、総務課長が昇格し、次長兼総務課長に就任した。
4月 1日	消防職員の定数は、205人となった。
10月 8日	玉縄出張所に救急車を配置し、救急業務を開始した。
11月15日	予防課を新設し、課長以下11名を以て予防行政の充実を図った。
11月24日	第22分団の消防ポンプ車を小型動力ポンプ付積載車に切り替えたことにより、全消防分団の車両が小型動力ポンプ付積載車に切り替わった。
11月27日	第13分団器具置場を建設した。

年 月 日	事 項
昭和55年 4月 1日	乾式連結送水管を高台等の火災防衛困難地区に設置し、消防活動の迅速化を図った。
9月18日	大船消防署新庁舎にて消防業務を開始した。 同消防署敷地内に防災備蓄倉庫第1号が完成した。
12月26日	第6分団器具置場を建設した。
56年 4月 1日	八代目消防団長に副団長 梅沢市郎が就任した。  消防職員の定数は、209人となった。
12月26日	第22分団器具置場を建設した。
57年 3月11日	大船消防署に梯子付消防ポンプ自動車（35m級）を配置した。
3月23日	深沢出張所を新築移転するとともに、分署に昇格させ、分署長以下18名を配置し、消防業務の充実を図った。同時に救急車1台を配置し、救急業務を開始した。  同分署敷地内に防災備蓄倉庫第2号が完成した。 大船消防署に特別救助隊が発足した。
4月 1日	消防職員の定数は、216人となった。
12月 5日	大船消防署台分遣所・第5分団器具置場合同庁舎を開設し、7名を配置し業務を開始した。
58年 1月 1日	救急業務記録原票をコンピューター処理に切替え、統計事務の簡素化を図った。
7月15日	アルミックス製防火衣を購入し、防火衣の整備を図った。
7月28日	消防本部に防災資機材搬送車を配置した。
9月30日	市民の震度体験とあわせて防災知識の高揚を図るため、防災課に起震車を配置し、防災業務の充実を図った。
12月 9日	第7分団器具置場を新築移転した。
59年 4月 1日	消防職員の定数は、220人となった。
8月23日	大船消防署に防災資機材搬送車を配置した。
10月 1日	浄明寺出張所に救急車を配置し、救急業務を開始した。
12月19日	第21分団器具置場を建設した。
60年 3月28日	大船消防署に多目的特殊車を配置した。
3月30日	消防長 消防正監 楠山守男が退職した。

年 月 日	事 項
昭和60年 3月 31日	鎌倉市助役 磯田正一が消防長事務取扱となった。
4月 1日	次長兼総務課長 消防監 深津芳夫が消防正監に昇任し、四代目消防長に就任した。 九代目消防団長に副団長 守屋信藏が就任した。
12月 25日	第8分団器具置場を建設した。
61年 4月 20日	消防本部、浄明寺出張所敷地内にコンテナ式防災備蓄倉庫を設置した。
12月 26日	第20分団器具置場を建設した。
62年 1月 6日	消防始式を消防出初式と改めた。
9月 5日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、深沢分署に配置した。
平成元年 4月 1日	十代目消防団長に副団長 伊藤一美が就任した。
2年 3月 31日	第19分団器具置場を建設した。
5月 31日	台分遣所を本市機構改革に伴い、台出張所と改称した。
12月 1日	鎌倉市医師会の協力により『救急ドクターズカー』の試行を3ヵ月間実施した。
3年 2月 28日	消防テレホンサービス業務を開始した。
4月 1日	深沢分署の消防ポンプ車更新に伴い、動力付ホースカーを装備して、消防力の充実を図った。
6月 18日	総務課に緊急情報システム担当が新設された。
4年 4月 1日	第25分団器具置場を建設した。 署長が次長級となった。 緊急情報システムが完成し運用を開始した。 本市消防機構改革に伴い、指令課を新設し、指令業務の充実を、警防課に機関係を新設し、機関事務の充実を図った。さらに、消防署に課制を敷き警備第一課及び警備第二課を新設し警備体制の充実を図るとともに、「分署」呼称を廃止し、全て「出張所」としたため腰越分署、深沢分署はそれぞれ出張所となった。
8月 7日	消防本部に水陸両用水難救助車を配置し、水難救助の充実を図った。
9月 3日	日本消防協会から救急車の寄贈を受け、玉縄出張所に配置した。

年 月 日	事 項
平成 4 年 12 月 28 日	大船地区の篤志家から水害対策用車両の寄贈を受け、大船消防署に配置した。
5 年 1 月 12 日	職員の高齢化対策として鎌倉・大船両消防署に高速高圧ホース洗浄器を配備した。
2 月 1 日	完全週休二日制を実施した。(毎日勤務者 4 週 8 休制、隔日勤務者 8 週 13 休制)
4 月 1 日	十一代目消防団長に副団長 田中新三が就任した。
10 月 1 日	鎌倉消防署に最新型高規格救急自動車を配置し、救急業務の高度化を図った。
10 月 21 日	腰越出張所の消防ポンプ車更新に伴い、職員の高齢化対策としての乗車型の動力付ホースレイヤーを装備して、消防力の充実を図った。
12 月 24 日	本市初の救急救命士が誕生した。
6 年 4 月 1 日	鎌倉市医師会の協力を得て、救急救命士制度の本格的運用を開始した。
	隔日勤務職場の 4 週 8 休制を実施した。
	第 4 分団器具置場を建設した。
4 月 13 日	長谷出張所新庁舎が完成し 4 月 15 日から業務を開始した。同庁舎に防災備蓄倉庫を併設した。
9 月 1 日	「鎌倉市応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」を制定し、応急手当の正しい知識と技術の普及を図り、救命率と社会復帰率の向上に努めた。
7 年 1 月 18 日	1 月 17 日に発生した阪神・淡路大震災に鎌倉救助隊 1 隊を派遣した。
7 月 15 日	鎌倉エフエム放送(株)と業務締結し、緊急割り込み放送を行う災害緊急情報伝達装置の運用を開始した。
12 月 20 日	自治省消防庁から緊急消防援助隊旗が交付された。
8 年 4 月 1 日	市の機構改革に伴い、「係制」を廃止し、「担当制」を導入した。
	防災課を廃止し、警防課に災害対策担当を新設した。これまで防災課で行っていた防災業務を企画部に新設された総合防災課に移管し、防災業務の一部を警防課災害対策担当で行うこととした。
	消防本部次長の総務課長兼務を解き、専任とした。

年 月 日	事 項
平成 8 年 9 月 18 日	大船消防署の救急車を最新型高規格救急自動車に更新した。
10 月 1 日	鎌倉市消防本部職員委員会が発足した。
9 年 1 月 1 日	警防課の機関担当を廃止し、警防担当及び災害対策担当の 2 担当とした。  副署長を両署に各 2 名置き、当直勤務とした。
3 月 23 日	鎌倉ライオンズクラブから投光器一式の寄贈を受け、大船消防署に配置した。
3 月 31 日	消防長 消防正監 深津芳夫が退職した。
4 月 1 日	次長 消防監 山崎博夫が消防正監に昇任し、五代目消防長に就任した。  十二代目消防団長に副団長 和田豊作が就任した。  鎌倉市消防吏員の服制等に関する規則を一部改正し、救急服を導入した。
9 月 29 日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車 1 台の寄贈を受け、鎌倉消防署に配置した。
10 年 3 月 13 日	消防本部庁舎の耐震補強工事が完了した。
4 月 1 日	第 14 分団器具置場をたまなわ交流センター内に移転した。
11 年 1 月 1 日	緊急情報システムを更新し、コンピューターの 2000 年対応と併せて指令業務の充実強化を図った。
3 月 1 日	腰越支所・腰越出張所合同庁舎が支所移転に伴い、庁舎が消防所管となった。
3 月 15 日	聴覚障害者等の緊急連絡対策としてファックス 119 番システムを導入した。
4 月 1 日	鎌倉市消防計画を消防組織法に基づき制定した。
6 月 4 日	鎌倉市医師会から高度救急処置シミュレーター装置一式の寄贈を受け、大船消防署に配置した。
12 年 3 月 8 日	本市消防本部・消防団は、消防庁長官から優良消防機関として竿頭綬を授与された。
3 月 9 日	鎌倉消防署にはしごの使用架梯が水平以下 15 度まで可能となるバスケット装置付のはしご付消防自動車（24m 級）に更新した。

年 月 日	事 項
平成 12 年 4 月 1 日	本市初の女性消防吏員が誕生した。
6 月 12 日	鎌倉消防署に水難救助用水上オートバイを配置した。
10 月 25 日	大船消防署の耐震補強工事が完了する。
13 年 4 月 1 日	市の機構改革に伴い、消防本部で行っていた防災業務を企画部総合防災課に移管したことにより、警防課災害対策担当を廃止し、警防担当の 1 担当とした。  十三代目消防団長に副団長 関根昇次が就任した。
14 年 3 月 27 日	第 11 分団器具置場を建設した。
7 月 9 日	第 9 分団器具置場を建設した。
15 年 1 月 29 日	深沢出張所救急車を最新型高規格救急車に更新した。
3 月 20 日	鎌倉市消防団は、神奈川県消防協会から優良消防機関として竿頭授を授与された。
3 月 21 日	玉縄出張所の耐震補強工事及び庁舎整備工事が完了した。  第 13 分団器具置場を建設した。
4 月 1 日	消防本部次長兼総務課長制とした。  再任用制度を導入した。
16 年 1 月 15 日	大船消防署にはしごの使用架梯が水平以下 15 度まで可能となるバスケット装置付のはしご付消防自動車（37m 級）に更新した。
3 月 31 日	消防長 消防正監 山崎博夫が退職した。
4 月 1 日	事務吏員 菅原俊幸が六代目消防長に就任した。  鎌倉市消防吏員の服制等に関する規則を一部改正し、活動服を導入した。  消防本部次長の総務課長兼務を解き、専任とした。
8 月 27 日	KDD I からの 119 番接続を行い、受信を開始した。
10 月 29 日	10 月 23 日に発生した新潟県中越地震に緊急消防援助隊（消防隊 1 隊、救急隊 1 隊、支援隊 1 隊）を派遣した。
12 月 10 日	日本テレコムからの 119 番接続を行い、受信を開始した。
17 年 1 月 21 日	大船消防署の高規格救急車を最新型に更新した。
2 月 1 日	本市初の気管挿管認定救急救命士が誕生した。

年 月 日	事 項
平成 17 年 2 月 24 日	平成電電からの 119 番接続を行い、受信を開始した。
3 月 3 日	鎌倉大船ロータリークラブより子供用防火服 4 セットが寄贈された。
3 月 22 日	第 29 分団器具置場を建設した。
4 月 1 日	特命担当として救急救命担当を新設し課長職 1 名、兼務担当主査 7 名を配置した。  総合防災課へ出向者 3 名を事務吏員に転任した。  消防テレホンサービスの無料化を行った。  十四代目消防団長に副団長 秋元 昭が就任した。
4 月 21 日	救急隊及び消防隊連携出場基準（P A 連携）を制定し、迅速な救急業務の向上に努めた。
6 月 28 日	N T T 東日本（I P 電話）からの 119 番接続を行い、受信を開始した。
7 月 21 日	鎌倉市医師会・病院会から自動体外式除細動器（A E D）が寄贈され、救命率と社会復帰率の向上を図った。
9 月 1 日	「非医療従事者による自動体外式除細動器（A E D）の使用について」が通知されたことにより各消防隊へ A E D を配置し、心肺停止患者の救命率の向上を図った。
9 月 7 日	携帯電話からの 119 番通報を直接受信に移行した。
9 月 28 日	玉縄出張所の高規格救急車を最新型に更新した。
10 月 1 日	各消防分団に相互通信可能な無線機を整備し、災害時の情報の共用化を図った。
11 月 30 日	第 26 分団器具置場を建設した。
12 月 20 日	消防テレホンサービス回線を 10 回線から 20 回線とした。
18 年 3 月 27 日	元本市消防職員の遺族から最新型高規格救急車 1 台の寄贈を受け、大船消防署に配置した。
3 月 31 日	消防長 事務吏員 菅原俊幸が退職した。
4 月 1 日	事務吏員 浦 靖幸が七代目消防長に就任した。  消防本部次長兼警防課長制とした。  総務課を消防総務課に名称変更した。  指令課を廃止し、指令第一・第二担当を警防課に統合した。

年 月 日	事 項
平成 18 年 4 月 1 日	腰越出張所及び浄明寺出張所の救急車を最新型高規格救急車に更新し、全隊が、高規格救急車となり、救急救命士が同乗し、救急業務の高度化を図った。
5 月 1 日	市庁舎ほか 12 公共施設に A E D を設置し、救命率と社会復帰率の向上を図った。
7 月 12 日	鎌倉市患者等搬送事業認定基準（民間救急）を制定し、民間事業者 1 事業所を認定した。
10 月 4 日	本市初の薬剤投与（アドレナリン）認定救急救命士が誕生した。
11 月 21 日	平成電電がソフトバンクテレコムに事業譲渡したため、119 番接続を撤去し、受信を終了する。
12 月 15 日	鎌倉市救急協力事業所標章交付基準を制定し、6 事業所を「救急協力事業所」として認定するとともに救急体制の充実を図った。
19 年 4 月 1 日	消防本部次長兼警防課長制を解き、次長兼予防課長制とした。  大船消防署今泉出張所を新設し、消防車、救急車各 1 台を配置し、消防業務を開始した。
6 月 1 日	市福祉センターほか 16 公共施設に A E D を設置し、救命率と社会復帰率の向上を図った。
7 月 17 日	「救急協力事業所」として 7 事業所を認定するとともに救急体制の充実を図った。
9 月 1 日	十五代目消防団長に副団長 内海寛士が就任した。
20 年 2 月 27 日	大船消防署の救助工作車を最新型に更新した。
3 月 17 日	「救急協力事業所」として 5 事業所を認定するとともに救急体制の充実を図った。
3 月 31 日	消防長 事務職員 浦 靖幸が退職した。
4 月 1 日	大船消防署長 消防監 畑 光則が消防正監に昇任し、八代目消防長に就任した。  次長兼消防総務課長制とした。
6 月 1 日	市内 25 小中学校に A E D を設置し、救命率と社会復帰率の向上を図った。
21 年 2 月 5 日	今泉出張所の高規格救急車を最新型に更新した。
2 月 13 日	鎌倉市消防団は、日本消防協会から優良消防機関として竿頭綬を授与された。

年 月 日	事 項
平成 21 年 2 月 17 日	「救急協力事業所」として 6 事業所を認定するとともに救急体制の充実を図った。
4 月 1 日	警防課を警防救急課に名称変更し、併せて特命担当であった救急救命担当を廃止し警防救急課に統合した。 警防課指令第一・第二担当を廃止し、新たに指令情報課を新設した。 消防本部次長兼予防課長制を解いた。
7 月 1 日	パソコンや携帯電話からの E メールでの通報が可能な、E メール 119 番通報システムを導入し、消防緊急通報の充実を図った。
22 年 3 月 15 日	鎌倉消防署の水難救助用オートバイを最新型に更新した。
3 月 19 日	鎌倉消防署の災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を最新型に更新した。
3 月 24 日	「救急協力事業所」として 9 事業所を認定するとともに救急体制の充実を図った。
4 月 1 日	消防職員の定数は、238 人となった。
23 年 1 月 11 日	「救急協力事業所」として 3 事業所を認定するとともに救急体制の充実を図った。
3 月 14 日	3 月 11 日に発生した東日本大震災に緊急消防援助隊（消防隊 1 次・2 次延べ 14 名及び救急隊 1 次～4 次延べ 15 名）を派遣した。
3 月 31 日	消防長 消防正監 畑 光則が退職した。
4 月 1 日	大船消防署長 消防監 高橋 卓が消防正監に昇任し、九代目消防長に就任した。
4 月 17 日	鎌倉消防署七里ガ浜出張所を新設し、消防車、救急車各 1 台を配置し、消防業務を開始した。
8 月 15 日	鎌倉消防署七里ガ浜出張所の開庁に伴い管轄区域の重複を解消するため鎌倉消防署長谷出張所を閉庁するとともに、由比ガ浜海岸に面する鎌倉市消防団第 25 分団器具置場の拠点とした。
24 年 2 月 1 日	湘南東部における消防の広域連携等について、藤沢市・茅ヶ崎市・鎌倉市・寒川町の 3 市 1 町において、広域連携施策についての「覚書」を締結した。
2 月 17 日	鎌倉消防署の救助工作車を最新型消防ポンプ付救助工作車に更新した。
3 月 1 日	深沢出張所の高規格救急自動車を最新型に更新した。

年 月 日	事 項
平成 24 年 3 月 6 日	「救急協力事業所」として 5 事業所を認定するとともに救急体制の充実を図った。(認定合計 41 事業所)
4 月 1 日	本市機構改革に伴い、特命担当として、デジタル化整備担当を新設し課長職 1 名を配置した。 また、消防総務課経理担当を廃止し、総務担当と統合、併せて消防署の警備第一課及び警備第二課を統合し、警備課とした。
12 月 11 日	「救急協力事業所」として 18 事業所を認定するとともに救急体制の充実を図った。(認定合計 59 事業所)
25 年 2 月 27 日	大船消防署の化学車を最新型に更新した。
4 月 1 日	「救急協力事業所」として 34 事業所を認定するとともに救急体制の充実を図った。(認定合計 93 事業所)  消防救急無線のデジタル化準備のため、特命担当として配置した課長職 1 名、デジタル化整備担当を配置した。 指令情報課に、デジタル整備担当を担当する日勤者 1 名を配置した。  十六代目消防団長に副団長 平井保男が就任した。
26 年 3 月 27 日	腰越出張所の高規格救急自動車を最新型に更新した。
3 月 31 日	玉縄出張所の消防ポンプ自動車を最新型に更新した。
4 月 1 日	消防救急無線のデジタル化準備のため、特命担当として配置していた課長職 1 名、デジタル化整備担当を廃止した。  指令情報課に、デジタル整備担当を担当する日勤者 1 名を増員し 2 名配置とした。
10 月 1 日	人事給与制度改正のため、主査、副主査制度が廃止となった。
12 月 17 日	老朽化した腰越出張所の解体作業が完了した。
27 年 1 月 23 日	大船消防署の高規格救急自動車を最新型に更新した。
3 月 10 日	「救急協力事業所」として 13 事業所を認定するとともに救急体制の充実を図った。(認定合計 105 事業所)
3 月 31 日	消防長 消防正監 高橋 卓が退職した。  消防本部移転に合せ台出張所を閉庁した。
4 月 1 日	消防本部次長兼消防総務課長 消防監 斎藤 務が消防正監に昇任し、十代目消防長に就任した。  消防本部が、大船消防署庁舎に移転して高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の運用を開始した。

年 月 日	事 項
平成 28 年 1 月 25 日	玉縄出張所の高規格救急自動車を最新型に更新した。
2 月 15 日	逗子市消防本部と職員人事交流を行った。
2 月 22 日	浄明寺出張所の消防ポンプ自動車を最新型に更新した。
3 月 28 日	「救急協力事業所」として 7 事業所を認定するとともに救急体制の充実を図った。(認定合計 112 事業所)
4 月 1 日	鎌倉市消防団の組織等に関する規則を改正し、消防団本部に本団部長の役職を設けた。
11 月 30 日	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律の施行にともない、活動服・防火衣の整備を行った。
12 月 1 日	「救急協力事業所」として 2 事業所を認定するとともに救急体制の充実を図った。(認定合計 114 事業所)
29 年 1 月 17 日	今泉出張所の高規格救急自動車を最新型に更新した。
3 月 1 日	腰越出張所新庁舎が完成し業務を開始した。 消防団第 22 分団器具置場を併設し、屋上は津波来襲時の緊急避難スペースとした。
3 月 27 日	鎌倉消防署のはしご車を最新型屈折はしご付消防自動車(26m級)に更新した。
4 月 1 日	十七代目消防団長に副団長 小宮幸二が就任した。  神奈川県と 2 年間の職員人事交流を行った。
7 月 31 日	湘南鎌倉総合病院と派遣型救急ワークステーションの協定を締結し運用を開始した。
8 月 1 日	市内のコンビニエンスストアに A E D を設置した。
10 月 18 日	鎌倉消防署の高規格救急自動車を最新型に更新した。
11 月 23 日	火災による死者ゼロ 1,000 日を達成した。
30 年 4 月 1 日	消防本部次長兼指令情報課長制とした。
5 月 10 日	全国消防長会技術委員会を鎌倉市で開催した。
12 月 1 日	偵察用無人航空機(ドローン)の運用を開始した。
31 年 2 月 15 日	七里ガ浜出張所の高規格救急自動車を最新型に更新した。
3 月 31 日	消防長 消防正監 斎藤 務が退職した。

年 月 日	事 項
平成 31 年 4 月 1 日	鎌倉消防署長 消防監 芥川 忠が消防正監に昇任し、十一代目消防長に就任した。 十八代目消防団長に副団長 大井勝則が就任した。 消防本部次長兼指令情報課長制を解いた。 総務省消防庁から消防団車両の無償貸与を受け第 4 分団へ配備した。
31 年 4 月 27 日	七里ガ浜出張所にレスキューボードを配置、運用を開始した。
令和元年 7 月 1 日	市立小中学校に屋外用 A E D を設置した。
10 月 1 日	浄明寺出張所の高規格救急自動車を最新型に更新した。
2 年 1 月 10 日	N E T 1 1 9 緊急通報システムの運用を開始した。
2 月 10 日	今泉出張所の消防ポンプ自動車を最新型に更新した。
2 月 15 日	大船消防署の救助工作車を最新型に更新した。
3 月 31 日	消防長 消防正監 芥川 忠が退職した。
4 月 1 日	消防本部次長兼消防総務課長 消防監 高木 守が消防正監に昇任し、十二代目消防長に就任した。 大型免許取得奨励金制度を開始した。
10 月 1 日	女性消防職員の救急活動負担軽減のため、H A L 「作業支援用ロボットスーツ」を導入した。
3 年 1 月 13 日	大船消防署の指令車を最新型に更新した。
2 月 15 日	東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に伴い特殊災害対応資機材の整備を行った。
3 月 12 日	深沢出張所の高規格救急自動車を最新型に更新した。
3 月 22 日	腰越出張所の消防ポンプ自動車を最新型に更新した。 腰越出張所にレスキューボードを配置、運用を開始した。
3 月 25 日	消防本部防災パトロール車を最新型に更新した。
3 月 26 日	大船消防署に支援車を配備した。
3 月 31 日	消防本部の指揮車を最新型に更新した。

# 鎌倉市の主な火災・災害等

- 昭和26年4月26日 14時30分植木の寺院から出火。1棟766㎡を全焼。  
損害額3,400万円。
- 昭和27年1月16日 2時10分大船の撮影所から出火。1棟2,350㎡を全焼。  
損害額7,500万円
- 8月22日 15時45分大船の中学校から出火。3棟2,201㎡を全焼。  
損害額700万円。
- 昭和32年9月21日 16時45分台の工場から出火。3棟609㎡を全半焼。  
損害額1,100万円。
- 昭和33年9月27日 台風22号の来襲により死者1名、負傷者2名、家屋の全壊6棟、半壊4棟、床上浸水  
947棟の被害が発生。
- 昭和34年2月14日 5時20分大町の洋品店から出火。4棟374㎡を全半焼。  
損害額1,100万円。
- 昭和36年6月28日 梅雨前線の発達により大雨となり、552ヶ所に崖崩れがおき、死者10名、負傷者  
11名、家屋の全壊42棟、半壊82棟、床上浸水2,821棟の被害が発生、6月23日から  
29日までの総雨量1,128mm。(36.6豪雨)
- 昭和37年2月26日 20時59分小町の市役所から出火。2棟1,868㎡を全焼。  
損害額4,600万円。
- 3月21日 14時45分腰越の神社から出火。山車小屋1棟114㎡を全焼。  
損害額1,300万円。
- 昭和40年1月13日 1時40分雪ノ下の大学から出火。3棟4,424㎡を全焼。  
損害額5,500万円。
- 1月30日 4時16分由比ガ浜の小学校から出火。13棟3,298㎡を全焼。  
損害額4,300万円。
- 6月27日 梅雨前線の発達により27ヶ所に崖崩れがおき、床上浸水76棟、床下浸水793棟の被  
害が発生、総雨量91.3mm。
- 9月17日 台風24号の来襲により、36ヶ所に崖崩れがおき、床上浸水44棟、床下浸水887棟の  
被害が発生、総雨量133.5mm。
- 昭和41年1月2日 2時15分長谷の病院から出火(部分焼)。死者1名。
- 2月6日 15時30分長谷の山林から出火。10ha焼失。

- 昭和41年4月11日 8時47分二階堂の小学校から出火。2棟3,241㎡を全半焼。  
損害額2,800万円。
- 6月28日 台風4号の来襲により139ヶ所に崖崩れがおき、死者1名、負傷者13名、家屋の全壊10棟、半壊6棟、床上浸水1,763棟の被害が発生。6月27日から28日までの総雨量232mm。
- 9月24日 台風26号の来襲により89ヶ所に崖崩れがおき、負傷者2名、家屋の半壊28棟、床下浸水9棟の被害が発生。9月24日から25日までの総雨量71mm。
- 昭和42年5月7日 15時36分大船の飲食店でプロパンガスが爆発。負傷者15名。
- 昭和46年3月17日 11時35分二階堂の山林から出火。15ha焼失。
- 昭和48年11月10日 集中豪雨により155ヶ所に崖崩れがおき、死者1名、負傷者1名、家屋の全壊2棟、半壊7棟、床上浸水1,439棟、床下浸水1,577棟の被害が発生、11月9日から10日までの総雨量219mm。
- 昭和49年7月8日 集中豪雨により91ヶ所に崖崩れがおき、全壊1棟、床上浸水493棟、床下浸水678棟の被害が発生。7月7日から8日までの総雨量163.5mm。1時間当たりの最高雨量57.3mm。
- 昭和53年3月8日 2時27分小町の菓子店から出火。3棟573㎡を全焼。  
損害額5,600万円。
- 昭和54年7月9日 0時30分大船の医院から出火。1棟134㎡を全焼。死者2名、負傷者3名。
- 10月19日 台風20号の来襲により57ヶ所に崖崩れがおき、負傷者1名、家屋の全壊2棟、半壊15棟、一部損壊299棟の被害が発生。10月17日から19日までの総雨量94mm。
- 昭和57年8月1日 台風10号の来襲により30ヶ所に崖崩れがおき、負傷者1名、家屋の一部損壊41棟の被害が発生。7月31日から8月1日までの総雨量82mm。
- 9月12日 台風18号の来襲により150ヶ所に崖崩れがおき、死者2名、負傷者6名、家屋の全壊7棟、半壊2棟、一部損壊34棟の被害が発生。9月10日から12日までの総雨量326mm。
- 昭和58年3月2日 14時25分御成町の小学校から出火。1棟888㎡を全焼。  
損害額5,300万円。
- 3月13日 18時46分腰越の住宅から出火。死者1名・4棟310㎡を全焼。  
損害額1,900万円。
- 10月25日 16時50分小町の病院から出火（部分焼）。死者1名。
- 11月18日 13時15分大船の撮影所から出火。9棟674㎡を全半焼。  
損害額1,300万円。

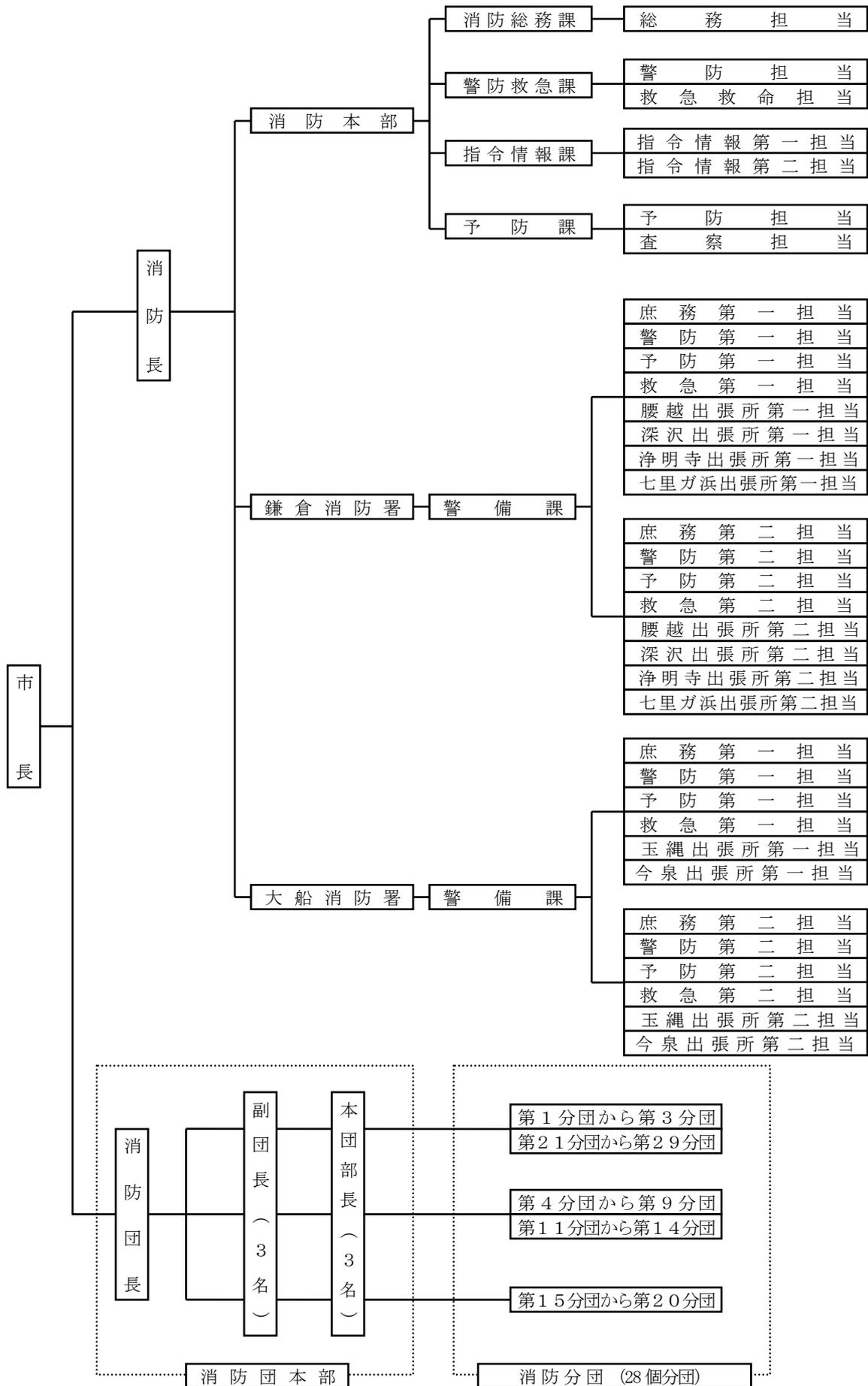
- 昭和59年3月29日 3時22分極楽寺の住宅から出火。1棟89㎡を全焼。死者3名、負傷者5名。
- 昭和60年6月30日 台風6号の来襲により69ヶ所に崖崩れがおき、負傷者1名、家屋の全壊1棟、一部損壊118棟、床下浸水3棟の被害が発生6月29日から7月1日までの総雨量126mm。
- 8月2日 2時15分腰越の作業場より出火。10棟489㎡を全半焼（部分焼を含む）。損害額3,000万円。
- 昭和61年2月3日 1時58分大船仲通りのストアーから出火。負傷者3名、6棟806㎡を全半焼（部分焼を含む）。損害額10,370万円。
- 昭和62年6月7日 材木座、由比ガ浜、稲村ガ崎及び腰越海岸に、電気クラゲ（カツオノエボシ）が異常発生し、その被害は、一日で救急出場が65件、搬送人員169名といった異例の事態が発生。
- 平成2年9月30日 台風20号の来襲により103ヶ所に崖崩れがおき、家屋の全壊6棟、一部損壊17棟、住家の床上浸水167棟、床下浸水539棟、非住家の浸水1,002棟等の被害が発生、総雨量188.5mm。
- 平成3年5月27日 14時09分由比ガ浜のガソリンスタンドで掘りだした地下タンクの解体作業中に爆発。死者1名・負傷者1名。
- 平成8年12月27日 3時36分笹田の住宅から出火。8棟353㎡を全半焼。死者1名。損害額2,647万円。
- 平成10年3月3日 17時15分岩瀬の住宅から出火。1棟全焼、5棟部分焼、死者1名、負傷者1名。損害額2,077万円。
- 平成13年6月26日 3時47分大船の店舗から出火。1棟全焼、1棟ぼや。損害額6,101万円。
- 平成16年1月19日 1時21分山ノ内の住宅から出火。1棟全焼、死者3名。損害額140万円。
- 2月15日 23時47分浄明寺の住宅から出火。1棟全焼、負傷者1名。損害額3,217万円。
- 3月17日 7時00分ころ津の住宅から出火。1棟全焼、負傷者3名。損害額4,373万円。
- 10月9日・20日 台風22・23号の来襲により379ヶ所に崖崩れがおき、家屋の全壊1棟、半壊5棟、一部損壊151棟、住家の床上浸水106棟、床下浸水212棟、非住家の浸水478棟等の被害が発生した。死者1名。
- 平成17年5月27日 9時44分今泉台の住宅から出火。2棟全焼、2棟部分焼、3棟ぼや、負傷者1名。損害額5,810万円。

- 平成18年2月21日 14時19分梶原の住宅から出火。1棟全焼、1棟部分焼、死者1名。  
損害額784万円。
- 平成19年12月9日 10時27分玉縄の住宅から出火。1棟全焼、死者1名。  
損害額141万円。
- 平成20年1月3日 5時47分植木の住宅から出火。2棟全焼、2棟部分焼、2棟ぼや、死者1名、負傷者2名。  
損害額920万円。
- 3月12日 11時00分長谷の住宅から出火。1棟ぼや、死者1名。  
損害額0.3万円。
- 5月17日 9時33分山ノ内の住宅から出火。1棟全焼、1棟ぼや、死者1名。  
損害額261万円。
- 8月4日 10時40分大町の店舗から出火。2棟全焼、4棟ぼや。  
損害額5,339万円。
- 8月23日 9時50分西御門の住宅から出火。1棟全焼、2棟ぼや。  
損害額2,028万円。
- 平成21年9月26日 4時00分ころ寺分の住宅から出火。1棟全焼、1棟ぼや。  
損害額3,768万円。
- 12月13日 18時57分雪ノ下の住宅から出火。1棟全焼、1棟ぼや、死者1名、負傷者2名。  
損害額145万円。
- 平成22年3月25日 9時45分雪ノ下の住宅から出火。1棟全焼、1棟ぼや、負傷者2名。  
損害額2,747万円。
- 12月29日 3時40分小町の住宅から出火。1棟全焼、1棟半焼、3棟ぼや、死者1名。  
損害額2,382万円。
- 平成23年1月13日 21時52分ころ西鎌倉の住宅から出火。1棟全焼、1棟部分焼、車両1台全損、負傷者4名。損害額2,377万円。
- 3月17日 20時35分玉縄の住宅から出火。2棟全焼、4棟ぼや、負傷者2名。  
損害額3,215万円。
- 平成24年10月18日 8時45分由比ガ浜の中高層建物2階から出火。2階一室部分焼、死者1名。  
損害額446.9万円。
- 平成25年7月2日 8時10分ころ山ノ内の住宅から出火。4棟全焼、1棟ぼや、死者1名、負傷者1名。  
損害額1,203万円。

- 平成26年1月7日 4時24分ころ浄明寺の住宅から出火。1棟半焼、負傷者3名。  
損害額3,138.8万円。
- 2月12日 2時30分ころ材木座の住宅から出火。1棟全焼、2棟ぼや、死者1名  
損害額2,349.3万円。
- 12月11日 10時00分ころ山ノ内の店舗併用住宅から出火。1棟全焼、負傷者1名。  
損害額2,020万円。
- 12月18日 0時25分ころ極楽寺の住宅から出火。1棟全焼、1棟ぼや、死者1名  
損害額420.4万円。
- 平成27年2月26日 10時50分ころ台の住宅から出火。1棟全焼、死者1名。  
損害額590.2万円。
- 平成28年1月30日 14時29分ころ材木座の中高層建物2階から出火。2階一室全焼。  
損害額2,260.6万円。
- 平成30年6月6日 15時18分ころ台の住宅から出火。1棟全焼、2棟部分焼、3棟ぼや、死者1名  
損害額811万円。
- 平成31年3月23日 未明 植木の中高層建物3階から出火。1室部分焼、死者1名  
損害額1,195万円。
- 令和元年9月9日 台風15号「房総半島台風」の来襲により101箇所に崖崩れ、家屋の全壊2棟、  
半壊15棟の被害が発生、総雨量191.5mm。
- 10月12日 台風19号「東日本台風」の来襲により12箇所に崖崩れ、家屋の全壊2棟、  
半壊9棟の被害が発生、総雨量217mm。
- 令和2年1月22日 12時50分ころ、城廻の一般住宅から出火、1棟全焼、2棟ぼや、死者1名  
損害額2,425万円。
- 令和3年2月12日 5時53分ころ、腰越の宿泊施設から出火、1棟全焼、負傷者1名  
損害額2,243万円。
- 2月28日 18時28分ころ、梶原の一般住宅から出火、2棟全焼、2棟ぼや  
損害額4,396万円。

# 鎌倉市消防機構図

令和3年(2021年)4月1日現在



## 事 務 分 掌

消防総務課	総務担当	<p>消防事務事業に関する企画及び調整、例規の制定改廃、事務室の配置、統計資料の収集及び編さん、文書の收受及び発送、公印の管理、会議及び行事、職員の定数及び配置、職員の任免・服務・賞罰・給与及びその他人事、職員及び団員の研修及び教養、公務災害補償、職員の福利厚生共済、消防職員委員会、消防団の庶務、職員・団員及び消防協力者の表彰、消防広報</p> <p>予算及び経理、国県の支出金の申請等、財産の管理及び保守、物品の調達・出納及び保管、貸与物件</p>
消防救急課	警防担当	<p>消防活動に関する管理、消防警防計画、水害警防管理、災害対策及び警戒警備、消防用車両の配置及び管理、消防用機械器具及び装備品の管理・研究、機関員及び安全運転管理の指導、消防・救急及び救助訓練、自衛消防隊の訓練指導の管理、消防水利の維持管理、開発事業等に対する消防上の指導、消防協定、救助活動に関する管理、火災・救助統計の作成、その他の防災及び警防救急等</p>
	救急救命担当	<p>救急統計の作成、救急活動に関する管理、メディカルコントロール体制の管理、応急手当の普及啓発活動</p>
指令情報課	指令情報	<p>高機能消防指令センターシステム機器の管理運用、災害出動隊編成、災害及び救急出動指令、災害情報の収集及び伝達（広報）、消防用無線の運用管理、災害緊急情報伝達装置の運用管理及び防災行政用無線等の運用、無線関係団体との連絡、火災警報及び消防信号、気象観測、その他指令管制業務</p>
	第一担当 第二担当	
予防課	予防担当	<p>火災予防計画、消防相談、火災予防関係願届、火災原因調査及び損害調査並びに危険物に係わる流出等の事故の原因の調査、消防用設備等、高圧ガス、防火及び防災管理、建築同意、危険物、鎌倉市危険物安全協会との連絡及び協調、その他火災予防</p>
	査察担当	<p>防火対象物の火災予防査察指導、危険物施設の火災予防査察指導、高圧ガス施設の火災予防査察指導、その他火災予防上必要な査察指導</p>
消防署警備課	庶務	<p>文書の收受及び発送、消防統計、職員の配置、職員の教養及び訓練、物品の管守</p>
	第一担当 第二担当	
	警防	<p>水火災の警戒防御、救助業務、（救急業務）、警防計画、（救急救命士業務）、警防・水防訓練、消防地水利、管区員の指導、消防機械器具の整備、消防用燃料出納記録、その他災害の警防、消防団への訓練指導、機関員指名基準の運用、自衛消防隊の訓練指導</p>
	第一担当 第二担当	
	予防	<p>火災（他の災害を含む）の予防対策及び指導並びに消防相談、火災原因調査及び損害調査、火災予防査察、危険物の規制、災害対策、その他災害予防</p>
	第一担当 第二担当	
	救急	<p>救急業務、救急救命士業務</p>
	第一担当 第二担当	
出張所	<p>水火災の警戒防御、救急業務、救助業務、警防・水防訓練、消防地水利、管区員の指導、消防機械器具の整備、消防用燃料出納記録、その他災害の警防及び予防</p>	
第一担当 第二担当		

## 鎌倉市の消防力の整備指針・消防水利の基準

### [消防力の整備指針とは]

消防組織法第 37 条の規定に基づき、市町村の消防に必要な人員及び施設の基準として消防庁長官が勧告したものです。

鎌倉市では、地勢、道路事情、昼間人口等を勘案し、火災の予防、警戒及び鎮圧、救急業務並びに人命の救助等を行うために必要な施設及び人員を配置しています。

令和 3 年（2021 年）4 月 1 日現在

項 目	人口による 基準数	現有数
署所の数	5	8
署所の管理する消防ポンプ自動車数	8	8
消防団の管理する動力消防ポンプ数	12	28
救急自動車の数	7	8

項 目	基準数	現有数	
指揮車	2	2	
救助工作車	2	2	
はしご自動車又は屈折はしご自動車の数	2	2	
化学消防自動車の数	1	1	
人員数	職員	275	247
	団員	440	402

### [消防水利の基準とは]

消防法第 20 条第 1 項の規定に基づき、消防に必要な水利の基準として消防庁長官が勧告したものです。

消防水利の基準は、市町村の消防に必要な最小限度の水利について、定めることを目的としています。

令和 3 年（2021 年）4 月 1 日現在

項 目	基準数	充足数	充足率	現有数
消防水利	1, 290	1, 280	99. 2%	3, 757



## 消防庁舎概況

### 鎌倉市消防本部・大船消防署（海拔 9.0m）

所在地 鎌倉市大船 3-5-10  
構造 鉄筋コンクリート 3 階  
建築面積 947.80 m<sup>2</sup>  
延面積 2,180.09 m<sup>2</sup>  
敷地面積 2,861.09 m<sup>2</sup>  
昭和 25 年 5 月 3 日  
昭和 55 年 9 月 18 日 署移転  
平成 27 年 4 月 1 日 本部移転  
消防本部電話番号 0467(44)0119  
FAX 0467(45)6665  
大船消防署電話番号 0467(43)2424  
FAX 0467(45)6661



### 鎌倉消防署（海拔 6.1m）

所在地 鎌倉市由比ガ浜 4-1-10  
構造 鉄筋コンクリート地上 3 階地下 1 階  
建築面積 652.33 m<sup>2</sup>  
延面積 2,570.19 m<sup>2</sup>  
敷地面積 1,874.49 m<sup>2</sup>  
昭和 23 年 3 月 7 日  
昭和 49 年 9 月 20 日 署移転  
昭和 49 年 9 月 22 日 本部移転  
平成 27 年 4 月 1 日 大船消防署へ本部移転  
電話番号 0467(24)0119  
FAX 0467(25)5158



### 鎌倉消防署 腰越出張所（海拔 4.4m）

所在地 鎌倉市腰越 4-9-12  
構造 鉄筋コンクリート地上 3 階  
建築面積 263.28 m<sup>2</sup>  
延面積 632.99 m<sup>2</sup>  
敷地面積 490.67 m<sup>2</sup>  
昭和 23 年 3 月 7 日 設置  
昭和 25 年 5 月 3 日 分署に昇格  
昭和 37 年 12 月 1 日 移転  
平成 4 年 4 月 1 日 改称（機構改革）  
平成 29 年 3 月 1 日 改築  
電話番号 0467(32)4488  
FAX 0467(32)7174



鎌倉消防署 深沢出張所 (海拔 8.5m)



所在地 鎌倉市手広 1-16-12  
構造 鉄筋コンクリート 2階  
建築面積 651.85 m<sup>2</sup>  
延面積 954.43 m<sup>2</sup>  
敷地面積 1,502.69 m<sup>2</sup>  
昭和 29年 12月 1日 分遣所として設置  
昭和 38年 6月 1日 出張所に昇格  
昭和 57年 3月 23日 移転 分署に昇格  
平成 4年 4月 1日 改称 (機構改革)  
電話番号 0467(32)4090  
FAX 0467(32)7180

鎌倉消防署 浄明寺出張所 (海拔 40.4m)

所在地 鎌倉市浄明寺 6-2-7  
構造 鉄筋コンクリート 1階  
建築面積 272.81 m<sup>2</sup>  
延面積 272.81 m<sup>2</sup>  
敷地面積 1,731.12 m<sup>2</sup>  
昭和 53年 5月 1日  
電話番号 0467(25)5522  
FAX 0467(25)8122



鎌倉消防署 七里ガ浜出張所 (海拔 46.2m)

所在地 鎌倉市七里ガ浜東 1-2-5  
構造 鉄筋コンクリート一部 3階  
建築面積 204.63 m<sup>2</sup>  
延面積 491.71 m<sup>2</sup>  
敷地面積 514.60 m<sup>2</sup>  
平成 23年 4月 17日  
電話番号 0467(31)0119  
FAX 0467(31)3158



大船消防署 玉縄出張所 (海拔 12.4m)



所在地 鎌倉市玉縄 2-5-2  
構造 鉄筋コンクリート 2階  
建築面積 280.54 m<sup>2</sup>  
延面積 433.54 m<sup>2</sup>  
敷地面積 738.85 m<sup>2</sup>  
昭和 48 年 4 月 11 日  
電話番号 0467(44)1529  
FAX 0467(44)6663

大船消防署 今泉出張所 (海拔 23.7m)

所在地 鎌倉市今泉 2-4-25  
構造 鉄筋コンクリート 2階  
建築面積 205.00 m<sup>2</sup>  
延面積 403.14 m<sup>2</sup>  
敷地面積 341.25 m<sup>2</sup>  
平成 19 年 4 月 1 日  
電話番号 0467(43)0119  
FAX 0467(43)0162



無線基地局 (野村総合研究所跡地)

所在地 鎌倉市梶原 4-7  
平成 27 年 4 月 1 日



# 消防総務





## 市一般会計歳出予算に占める消防費の割合

( 千 円 )

区 分 \ 年 度	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
市 予 算 額	61,239,000	64,208,000	61,314,200
消 防 費	2,789,784	2,984,914	2,737,138
比 率 (%)	4.6	4.6	4.5

## 消 防 費 歳 入 予 算 (令和3年度)

( 歳 入 )

( 千 円 )

款	項	目	節	金 額
50	5 使用料 手数料	45 消防使用料	5 消防使用料	2,427
		15 消防手数料	5 消防手数料	364
55	10 国庫補助金	45 消防費補助金	5 消防費補助金	1,610
60	10 県補助金	45 消防費補助金	5 消防費補助金	6,666
85	25 雑 入	55 消防費収入	5 雑 入	14,156
90	5 市 債	45 消 防 債	5 消防施設整備 事業債	113,300
合 計				138,523

# 消 防 費 歳 出 予 算 (令和3年度)

( 歳 出 )

( 千 円 )

款	項	目	節	金 額
50	消 防 費			2,737,138
	5	消 防 費		2,524,646
		5	常備消防費	
			1	報 酬 1,096
			2	給 料 870,847
			3	職員手当等 1,080,578
			4	共 済 費 329,325
			8	報 償 費 1,085
			9	旅 費 1,789
			10	交 際 費 100
			11	需 用 費 120,139
			12	役 務 費 16,636
			13	委 託 料 70,698
			14	使用料及び 賃 借 料 13,696
			18	備品購入費 3,023
			19	負担金補助 及び交付金 14,150
			22	補償補填 及び賠償金 500
			27	公 課 費 984
		10	非常備消防費	73,370
			1	報 酬 15,065
			4	共 済 費 1,466
			5	災害補償費 50
			8	報 償 費 12,694
			9	旅 費 16,000
			10	交 際 費 10
			11	需 用 費 9,087
			12	役 務 費 732
			13	委 託 料 40
			14	使用料及び 賃 借 料 378
			19	負担金補助 及び交付金 17,456
			27	公 課 費 392
		15	消防施設費	139,122
			12	役 務 費 129
			13	委 託 料 339
			18	備品購入費 132,657
			22	補償補填 及び賠償金 5,861
			27	公 課 費 136

# 職員階級別状況

[昭和23年～令和3年]

年	階級別	定数	実員数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
昭和23年			72									
24		127	93		1		3	4	14		67	4
25		127	94		1		3	4	15		67	4
26		127	111		1		4	5	15		81	5
27		127	108		1		4	5	16		77	5
28		127	106		1		2	5	16		77	5
29		110	107		1		2	5	17		77	5
30		110	107		1		2	5	16		78	5
31		110	107		1		2	5	16		78	5
32		110	102		1		2	5	14		75	5
33		110	99		1		2	5	14		74	3
34		110	96		1		2	5	12		73	3
35		110	92		1		2	5	12		69	3
36		110	100		1		2	5	12		77	3
37		110	102			2	2	5	14		72	7
38		113	109		1	1	3	5	14		78	7
39		113	110		1	1	3	5	17		76	7
40		118	112		1	1	2	5	17		79	7
41		123	115		1	1	2	5	17		82	7
42		129	129		1	1	3	7	20		90	7
43		138	131		1	1	2	7	21		91	8
44		143	134		1	1	2	7	21	22	74	6
45		143	134		1	2	3	9	21	17	72	9
46		144	144		1	2	3	9	23	47	48	11
47		154	145		1	3	1	9	23	49	50	9
48		159	154		1	3	3	12	24	45	56	10
49		177	159		1	3	3	12	24	50	56	10
50		177	177		1	4	3	13	28	51	66	11
51		179	179		1	4	3	13	28	59	58	13
52		191	191		1	3	4	13	28	60	69	13
53		197	191		1	4	4	4	37	49	69	13
54		205	202	1		6	4	19	46	39	72	15
55		205	204	1	1	6	3	19	52	39	69	14
56		209	207	1	1	5	4	18	53	55	56	14
57		216	214	1		5	6	20	55	52	62	13
58		216	210	1		5	6	22	56	54	57	9
59		220	219	1	1	3	8	23	54	45	76	8
60		220	220	1		2	4	25	56	38	87	7
61		220	218	1		2	6	24	56	42	80	7
62		220	220	1		2	7	24	59	46	74	7
63		220	220	1		2	7	24	59	50	70	7
平成元年		220	220	1		3	6	24	61	57	61	7
2		220	219	1		6	3	25	63	57	47	7
3		220	220	1		6	3	25	69	71	39	6
4		220	220	1	1	7	4	33	146	13	9	6
5		220	219	1	2	6	4	32	156	5	7	6
6		220	220	1	2	6	4	36	150	5	10	6
7		220	220	1	2	6	4	44	144	3	14	3
8		220	220	1	3	10	14	38	135	11	7	1
9		220	220	1	2	13	16	38	132	13	3	2
10		220	219	1	2	13	18	39	127	14	3	2
11		220	219	1	2	13	20	41	122	14	4	2
12		220	219	1	2	13	21	46	120	8	6	2
13		220	219	1	2	13	21	47	118	6	9	2
14		220	218	1	2	13	21	47	110	9	13	2
15		220	216	1	3	12	21	51	100	12	15	1

年	階級別	定数	実員数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
16		220	217		4	13	22	56	91	15	14	2
17		217	213		3	14	23	60	79	17	15	2
18		217	214		3	13	28	63	71	19	16	1
19		217	221		3	13	30	61	68	21	24	1
20		217	225	1	3	12	30	61	69	23	25	1
21		217	222	1	2	13	30	59	66	29	21	1
22		238	242	1	2	13	30	56	69	32	38	1
23		238	241	1	2	13	32	58	65	35	34	1
24		238	242	1	2	13	32	55	71	45	22	1
25		238	235	1	2	12	32	50	73	43	21	1
26		238	239	1	3	12	32	44	81	46	19	1
27		238	232	1	3	12	32	44	70	50	19	1
28		238	233	1	3	12	32	43	75	47	19	1
29		238	239	1	3	12	32	42	79	43	24	3
30		238	241	1	4	10	29	45	77	44	28	3
令和元年		238	246	1	3	11	26	45	84	39	36	1
2		238	245	1	3	11	25	43	85	42	34	1
3		238	247	1	3	11	26	42	89	43	31	1

- ・昭和 36 年までの消防監は、『消防監補』に読み替える。昭和 23 年 8 月 1 日消防職階名の改正までは、次のような階級が使用されていた。
- ・消防司令長（消防司令）・消防司令（消防士、消防機関士）・消防司令補（消防士補、消防機関士補）・消防士長（消防曹長）・消防士（消防手）（ ）は、旧階級名
- ・平成 19 年から初任研修者を定数外扱いとしていることから実員数が定数を上回っている（平成 25 年、27 年除く）。

## 職員の配置状況

令和3年(2021年)4月1日現在

区分	階級別	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
	実員		247 (10)	1	3	11	26	42	89	43	31
消防本部	消防長	1	1								
	次長	1		1							
	消防総務課	16				2		2	1	10 ※	1
	警防救急課	6			1	1	1	3			
	指令情報課	14			1	4		7	2		
	予防課	11			1	2	2	6			
鎌倉消防署	署長	1		1							
	副署長	2			2						
	本署	31			2	6	2	13	4	4	
	腰越出張所	20				1	5	7	5	2	
	深沢出張所	20				1	5	8	4	2	
	浄明寺出張所	20				1	5	6	6	2	
	七里ガ浜出張所	20				1	5	6	8		
大船消防署	署長	1		1							
	副署長	2			2						
	本署	41			2	5	7	10	10	7	
	玉縄出張所	20				1	5	11	1	2	
	今泉出張所	20				1	5	10	2	2	

※ 消防総務課配置の消防士10名は神奈川県消防学校初任教育のため、定数外としています。

## 職員居住区域状況

職員内訳	市内									隣接市 (※1)	市外	計
	管内別											
	鎌倉	腰越	深沢	浄明寺	七里ガ浜	大船	玉縄	今泉	小計			
消防吏員	11	14	14	2	3	16	5	3	68	87	91	246
その他の職員		1							1			1
小計	11	15	14	2	3	16	5	3	69	87	91	247

注1 隣接市とは、横浜市(戸塚区・金沢区・栄区)、藤沢市、逗子市としています。

## 職員の階級別年齢

令和3(2021年)4月1現在

階級別 年齢	合計	消防 正監	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	その他 の職員
平均年齢(歳)	37.7	56.0	58.7	52.8	51.5	44.4	37.8	27.9	21.8	57.0
18歳以上20歳未満	2								2	
20歳以上25歳未満	37							10	27	
25歳以上30歳未満	32						2	28	2	
30歳以上35歳未満	49						46	3		
35歳以上40歳未満	35				1	15	19			
40歳以上45歳未満	17				3	9	5			
45歳以上50歳未満	18			3	6	6	3			
50歳以上55歳未満	14			4	5	4	1			
55歳以上	43	1	3	4	11	8	13	2		1
合計	247	1	3	11	26	42	89	43	31	1

## 職員の階級別勤続年数

令和3年(2021年)4月1日現在

階級別 年数	合計	消防 正監	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	その他 の職員
平均勤続年数(年)	16.5	38.0	36.7	34.1	31.5	23.8	16.3	5.0	1.1	39.0
1年未満	12						1		11	
1年以上5年未満	43							23	20	
5年以上10年未満	29						12	17		
10年以上15年未満	53					3	47	3		
15年以上20年未満	30				4	16	10			
20年以上25年未満	11				1	7	3			
25年以上30年未満	15			3	5	4	3			
30年以上	54	1	3	8	16	12	13			1
合計	247	1	3	11	26	42	89	43	31	1

※ 再任用職員は、再任用後の勤続年数で含みます。

職員の教養状況（過去5年間）

年度別人員 教養別		合計	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
		消防大学校	火災調査科	2	0	1	1	
	警防科	2	1	0	1	0	0	
	救助科	1	0	0	0	1	0	
	新任教官科	1	0	0	1	0	0	
指導救命士研修		3	1	1	1	0	0	
気管挿管実習		13	3	2	3	3	2	
救急救命士養成		3	0	0	0	2	1	
神奈川県消防学校	初任教育	43	6	8	10	11	8	
	専科教育	警防科	4	1	1	1	1	0
		特殊災害科	0	0	0	0	0	0
		予防査察科	7	2	2	2	1	0
		火災調査科	6	2	1	2	1	0
		救急科	36	5	7	8	10	6
		救助科	7	2	2	2	1	0
		小型ポンプ操法	2	2	0	0	0	0
	特別教育	特別救助	0	0	0	0	0	0
		はしご操作	1	1	1	1	1	0
特別幹部		4	1	1	1	1	0	
派遣教官		2	0	0	0	1	1	



# 警防救急





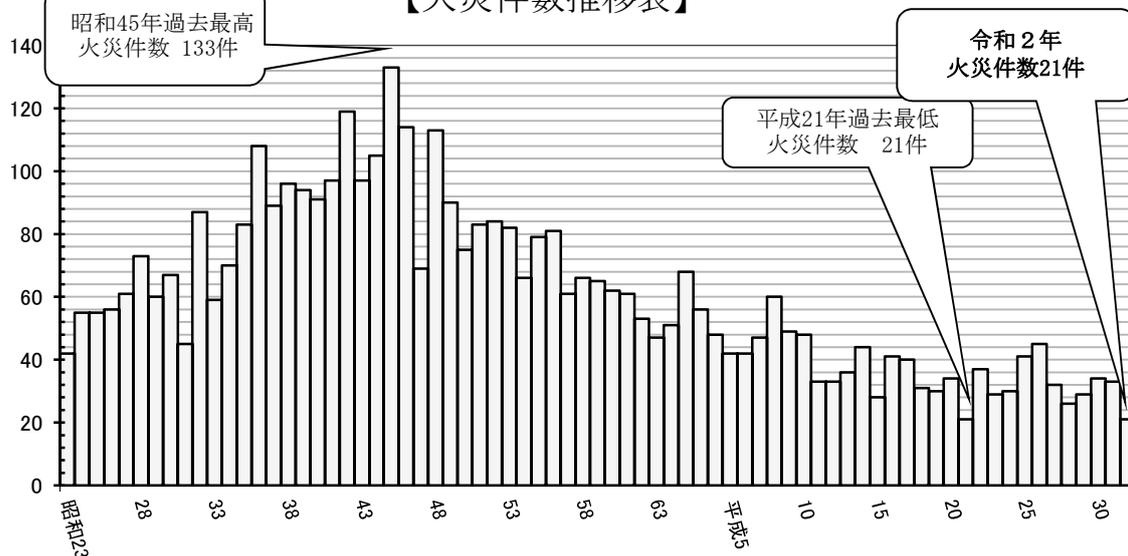
## 火災件数の推移

年	人口 (10月1日)	火災 件数	建物	林野	車両	船舶	その他	死者	負傷者	年	人口 (10月1日)	火災 件数	建物	林野	車両	船舶	その他	死者	負傷者
昭和23	84,422	42	23	5			14			60	175,495	62	45	6	4		7		10
24		55	34	8	2		11			61	175,975	61	44		10		7	2	12
25	85,392	55	30	5	1		19			62	176,358	53	38	1	6		8	2	10
26	86,923	56	37	7	1		11			63	175,995	47	37	2	2		6	2	7
27	88,536	61	27	9	9		16			平成元	175,769	51	36		4		11	3	12
28	90,044	73	38	18	1		16			2	174,307	68	39		11		18	1	12
29	90,916	60	36	9	7		8			3	174,019	56	42		2	1	11	5	12
30	91,328	67	45	10	7		5			4	173,492	48	36		6		6	1	6
31	91,756	45	29	12			4	1		5	172,638	42	30		4		8	1	6
32	92,470	87	52	22	4		9		4	6	171,815	42	32		3		7	2	12
33	93,874	59	33	10	7		9		8	7	170,329	47	30		8		9	2	7
34	95,559	70	45	8	2		15		10	8	168,569	60	38	1	7		14	5	14
35	98,617	83	47	20	6		10	1	14	9	167,661	49	31		8		10		12
36	102,352	108	66	17	5		20		11	10	167,136	48	33	2	5		8	6	7
37	106,591	89	51	28	7		3		7	11	167,627	33(1)	23(1)		6		4	2	6
38	110,801	96	44	40	1		11		16	12	167,585	33	21	1	3		8		7
39	116,039	94	46	27	7		14	1	5	13	167,437	36	26	1	5		4	4	10
40	118,329	91	38	25	9		19		10	14	167,693	44	39		2		3	2	11
41	120,782	97	44	31	4		18	2	5	15	168,724	28	22	1	3		2	2	2
42	124,770	119	64	29	6		20	2	20	16	169,866	41	33		4		4	4	9
43	129,961	97	44	29	4		20		9	17	171,512	40	34		3		3	1	15
44	135,124	105	57	15	6		27		5	18	172,784	31	27		3		1	1	11
45	139,249	133	59	31	3		40	2	9	19	173,263	30	23		1		6	1	5
46	143,217	114	55	20	8		31	3	18	20	173,439	34	31		2		1	3	12
47	148,049	69	40	7	6		16	3	11	21	174,164	21	13				8	2	5
48	154,533	113	69	13	8	1	22	3	24	22	174,354	37	26	1	5		5	4	18
49	159,870	90	69	6	4		11		20	23	174,290	29(1)	21(1)	1	2		5	1	15
50	165,552	75	56	2	5		12	4	19	24	174,162	30	20		1		9	1	6
51	168,183	83	56	5	4		18	4	13	25	173,523	41	26	1	1		13	2	13
52	170,997	84	58	6	6		14	1	12	26	173,530	45	27	3	5		10	2	13
53	172,981	82	57	2	7		16	1	6	27	173,019	32	17				15	1	4
54	173,331	66	41	4	2		19	2	10	28	172,337	26	21		2		3		10
55	172,629	79	47	1	5		26	6	12	29	172,284	29	20				9		2
56	173,392	81	50	6	8		17	2	5	30	172,306	34(1)	23(1)		3		8	1	3
57	173,850	61	44	1	12		4	2	5	令和元	172,262	33	26	2	2		3	1	12
58	174,656	66	49		12		5	3	6	2	172,948	21	14	0	1		6	1	3
59	175,510	65	49	1	6		9	4	11										

( )は爆発火災

(件数)

【火災件数推移表】



# 火 災 件 数 ( 月 別 )

過去5年間

月	別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
令	建 物	鎌倉	3				1	1						1	
		腰越	0												
		深沢	1				1								
		浄明寺	2						1			1			
		七里が浜	1					1							
		大船	4		1	1					1				1
		玉縄	2	1											1
		今泉	1												1
	計	14	1	1	1	2	2	1	0	1	1	0	1	3	
	林野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和	車 両	鎌倉	1	1											
		腰越	0												
		深沢	0												
		浄明寺	0												
		七里が浜	0												
		大船	0												
		玉縄	0												
		今泉	0												
	計	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	船舶	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
航空機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
年 の 他	そ の 他	鎌倉	1											1	
		腰越	0												
		深沢	1						1						
		浄明寺	0												
		七里が浜	0												
		大船	3			2		1							
		玉縄	0												
		今泉	1					1							
	計	6	0	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	1	
	中	計	鎌倉	5	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
腰越			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
深沢			2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	
浄明寺			2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	
七里が浜			1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
大船			7	0	1	3	0	1	0	0	1	0	0	1	
玉縄			2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
今泉			2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
計		21	2	1	3	2	4	2	0	1	1	0	1	4	
令和元年中		33	3	3	4	2	3	2	1	2	4	2	4	3	
平成30年中	34	6	0	2	2	2	3	2	5	1	4	4	3		
平成29年中	29	1	2	2	3	3	2	3	4	1	2	3	3		
平成28年中	26	6	2	1	1	4	2	2	3	0	2	1	2		

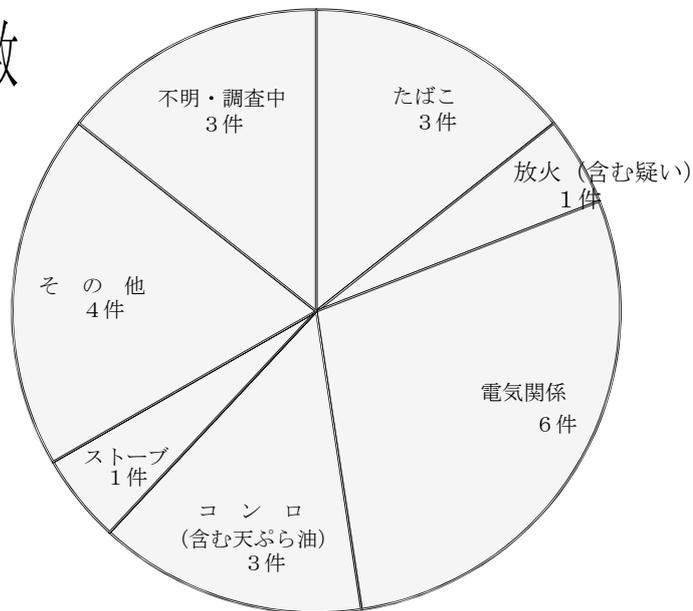
# 火災件数（原因別）

過去5年間

年別	たばこ	放火 (含む疑い)	電気関係	コンロ (含む天ぷら油)	たきび	子どもの火遊び	ストーブ	灯火	その他	不明・調査中	合計
令和2年中	3	1	6	3	0	0	1	0	4	3	21
令和元年中	5	0	6	3	2	0	2	0	8	7	33
平成30年中	3	1	9	5	1	0	2	1	7	5	34
平成29年中	3	3	5	3	1	1	0	0	9	4	29
平成28年中	3	3	4	9	1	0	0	0	3	3	26

(令和2年中)

火災件数  
21件



## 火災出動状況（月別）

令和2年中

月別	消防署			消防団			計	
	火災出動回数	出動隊数	出動延人員	火災出動回数	出動隊数	出動延人員	出動隊数	出動延人員
計	21	150	519	15	15	90	165	609
1月	2	17	60	2	2	14	19	74
2月	1	11	31	1	1	2	12	33
3月	3	3	12	0	0	0	3	12
4月	2	9	34	1	1	9	10	43
5月	4	33	117	4	4	24	37	141
6月	2	16	56	2	2	10	18	66
7月	0	9	31	0	0	0	9	31
8月	1	1	5	0	0	0	1	5
9月	1	1	4	0	0	0	1	4
10月	0	14	44	1	1	7	15	51
11月	1	9	31	1	1	9	10	40
12月	4	27	94	3	3	15	30	109

# 被 災 火

年 別		焼 損 面 積		損 害 額 (千円)						
		建 物 (m <sup>2</sup> )	林 野 (a)	建 物		林 野	車 両	船 舶	そ の 他	計
				建 築 物	収 容 物					
令和 2 年 中	1月	100		2,230	195		50			2,475
	2月			3	1					4
	3月			14	1					15
	4月	6		1,558	112					1,670
	5月	17		1,599	298					1,897
	6月								25	25
	7月									0
	8月			1	4					5
	9月			8	7					15
	10月									0
	11月	1		29						29
	12月			29	10				25	64
計	124	0	5,471	628	0	50	0	50	6,199	
令和元年中		666	25	65,739	4,487	0	0	0	4,171	74,397
平成30年中		181	0	12,905	545	0	14,141	0	26	27,617
平成29年中		502	0	29,442	18,247	0	0	0	43	47,732
平成28年中		428	0	46,925	5,840	0	7	0	117	52,889

# 害 状 況

過去5年間

焼 損 棟 数 (棟)									罹災世帯数 (世帯)				罹災人員 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)
火 元				延 焼 棟				計	全 損	半 損	小 損	計			
全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や								
1							2	3	1		2	3	5		1
			1					1				0			
			1					1			1	1	4	1	
		1	1					2			2	2	5		
		1	1					2	1		2	3	3		
			1					1			1	1	5		
								0				0			
			1					1			1	1	2		
			1					1			1	1	4		
								0				0			
		1						1			1	1	2		
		1	2					3			1	1	1		
1	0	4	9	0	0	0	2	16	2	0	12	14	31	1	1
4	1	5	15	1	0	2	5	33	5	0	23	28	71	12	1
1	1	2	18	0	0	2	3	27	1	1	19	21	46	3	1
2	0	4	14	2	1	0	0	23	3	2	9	14	33	2	0
2	2	4	13	0	0	2	2	25	3	3	19	25	58	10	0

# 救 助 出 動 状 況

過去5年間

年 区分	種別	火	交	水	風	機	建	ガ	爆	事	合
		災	通	難	水	械	物	ス	発	の	計
		火	通	難	水	械	物	ス	発	の	計
令和 2年中	出動件数	2	7	3	1	2		1		14	30
	出動人員	82	149	50	23	51		23		280	658
	救助人員		8	2		2		1		8	21
令和 元年中	出動件数	1	7	8		1				7	24
	出動人員	41	132	177		19				152	521
	救助人員	1	7	4						3	15
平成 30年中	出動件数	1	7	7		1	2	1		16	35
	出動人員	47	158	161		21	40	31		327	785
	救助人員	1	6	4		1	1	1		8	22
平成 29年中	出動件数	3	13	6			3	1		19	45
	出動人員	119	284	151			67	24		355	1000
	救助人員		11	14			2	1		14	42
平成 28年中	出動件数	4	9	3			2			17	35
	出動人員	140	193	67			40			369	809
	救助人員	3	4	2						6	15

# 消 防 水 利 統 計

令和3年(2021年)4月1日現在

署 所 別		計	鎌倉	腰越	深沢	浄明寺	七里ガ浜	大船	玉縄	今泉
計		3,757	599	489	614	363	252	691	437	312
公設 消火栓	地下双口	5	4				1			
	地下単口	2,772	441	406	445	287	212	449	292	240
	小 計	2,777	445	406	445	287	213	449	292	240
私設 消火栓	地上双口	1				1				
	地上単口	47	3		4	3		36	1	
	地下双口									
	地下単口	61	6	1	8	12	2	18	12	2
	小 計	109	9	1	12	16	2	54	13	2
防 火 水 槽	公設防火水槽	292	46	46	56	29	18	35	45	17
	私設防火水槽	504	88	30	90	25	11	136	79	45
	小 計	796	134	76	146	54	29	171	124	62
そ の 他 の 水 利	貯水池	14	1	1	2	2		5	2	1
	プール	28	7	2	3	3	4	4	3	2
	井 戸	1	1							
	その他水利	28	2	1	6	1	4	8	2	4
	河 川	3		1					1	1
	海 水	1		1						
	小 計	75	11	6	11	6	8	17	8	8

乾式 連結 送水管	計	35	2	3	4	6	6	11	2	1
	公 設	25	1		2	6	5	10	1	
	私 設	10	1	3	2		1	1	1	1

## 車 両 配 置 表

令和3年(2021年)4月1日現在

配置先	車 種	登録番号	車種	年式	ポンプ	定員	備 考
本 部	指揮車	横浜800つ7479	トヨタ	R3.3		7	けん引装置付
〃	本部多目的車	横浜480た1284	ニッサン	H27.9		4	
〃	査察車(1号)	横浜880あ2557	ダイハツ	H27.1		4	1号車
〃	査察車(2号)	横浜800つ1971	ニッサン	H30.1		8	2号車
〃	防災パトロール車	横浜800つ7355	ニッサン	R3.3		8	
〃	本部多目的車2	横浜400は2530	ニッサン	H22.3		5	
〃	救急車	横浜800そ8406	トヨタ	H21.2		7	非常用救急自動車(高規格)
鎌 倉	はしご車	横浜800は2711	ヒノ	H29.3		6	26メートル
〃	ポンプ車	横浜800つ3661	ヒノ	H31.1	A-2長野	5	電動アシスト付ホースカー積載 水槽容量1100ℓ
〃	水槽車	横浜800は2103	イスゞ	H22.3	A-2ニッキ	6	水槽容量1500ℓ
〃	指令車	横浜800つ1478	ミツゞシ	H29.9		8	けん引装置付
〃	水難救助用 水上オートバイ	第241-19855	ヤマハ	H22.3		3	
〃	トレーラー	横浜800る 489	クゞタテ	H22.3			水難救助用
〃	救急車	横浜800つ1553	トヨタ	H29.10		8	高規格救急車
〃	防災搬送車	横浜800つ1610	イスゞ	H29.10		3	資機材搬送車 ゲートリフター最大積載量600kg
〃	救急車	横浜800ち1666	トヨタ	H23.2		7	非常用高規格救急車
〃	広報車	横浜80 あ2190	ミツゞシ	H15.1		4	
〃	広報車2	横浜800そ4171	ニッサン	H18.11		8	
腰 越	ポンプ車	横浜800つ7367	ヒノ	R3.3	A-2ニッキ	5	水槽要領700ℓ 電動アシスト付ホースカー積載
〃	救急車	横浜800ち6091	トヨタ	H26.3		7	高規格救急車
深 沢	救助工作車	横浜800は2272	ヒノ	H24.2	A-2ニッキ	6	
〃	救急車	横浜800つ7285	トヨタ	R3.3		8	高規格救急車
〃	ポンプ車	横浜800そ8345	イスゞ	H21.1	A-2モリタ	5	乗車型電動式ホースカー積載
浄明寺	ポンプ車	横浜800ち8829	ヒノ	H28.2	A-2ﾄﾞﾗｲ	5	水槽容量600ℓ 電動アシスト付ホースカー積載
〃	救急車	横浜800つ4718	トヨタ	R1.9		8	高規格救急車

配置先	車種	登録番号	車種	年式	ポンプ	定員	備考
七里ガ浜	ポンプ車	横浜800ち1734	イヌゞ	H23. 3	A-2ﾄﾞﾗｲ	5	乗車型電動式ホースカー積載
〃	救急車	横浜800つ3728	ﾄﾞｲﾀ	H31. 2		8	高規格救急車
大 船	はしご車	横浜800は 966	ｲﾝｺ	H16. 1		6	37メートル
〃	ポンプ車	横浜800ち 412	ﾋﾉ	H22. 3	A-2畠山	5	乗車型電動式ホースカー積載
〃	化学車	横浜800は2380	ﾋﾉ	H25. 2	A-2ﾄﾞﾗｲ	6	水槽容量1000ℓ 薬液容量300ℓ 電動アシスト付ホースカー積載
〃	救助工作車	横浜800は2946	ﾋﾉ	R2. 2		6	2.9 t クレーン付
〃	指令車	横浜800つ6975	ﾄﾞｲﾀ	R2. 12		4	
〃	防災搬送車	横浜800そ4067	ﾋﾉ	H18. 10		3	2.3 t クレーン付
〃	支援車	横浜800つ7391	ﾄﾞｲﾀ	R3. 3		21	
〃	ポンプ車	横浜800そ6507	ﾋﾉ	H19. 12	A-2ﾓﾘﾀ	5	乗車型電動式ホースカー積載
〃	救急車	横浜800ち7289	ﾄﾞｲﾀ	H27. 1		7	高規格救急車
〃	救急車	横浜800ち1665	ﾄﾞｲﾀ	H23. 2		7	非常用救急自動車（高規格）
〃	広報車	横浜800そ2189	ﾆｯｻﾝ	R18. 2		8	
玉 縄	ポンプ車	横浜800ち6150	ﾋﾉ	H26. 3	A-2野口	5	電動アシスト付ホースカー積載
〃	救急車	横浜800ち8740	ﾆｯｻﾝ	H28. 1		7	高規格救急車
今泉	ポンプ車	横浜800つ5365	ﾋﾉ	R2. 1	A-2ﾆｯｷ	5	水槽容量700ℓ 電動アシスト付ホースカー積載
〃	救急車	横浜800つ 335	ﾄﾞｲﾀ	H29. 1		7	高規格救急車

### 車 種 別 一 覧 表

指揮車	1台	査察車	2台	防災パトロール車	1台
はしご車	2台	防災搬送車 (支援車を含む)	3台	指令車	2台
ポンプ車 (非常用2台を含む)	9台	化学車	1台	水槽車	1台
救助工作車	2台	救急車 (非常用3台を含む)	11台	水難救助用オートバイ	1台
水難救助用 オートバイ用 トレーラー	1台	広報車	3台	多目的車	2台

計 42台

# 主な消防機器の配備状況

令和3年(2021年)4月1日現在

種別		署所別		鎌倉消防署	腰越出張所	深沢出張所	浄明寺出張所	七里ガ浜出張所	大船消防署	玉縄出張所	今泉出張所	合計	
泡器 放水等	高発泡器			1					2			3	
	エアーフォーム管鎗				1	1		1	4	1	1	9	
	泡原液	カゴフォーム			1760					1,080			2,840
		スーパーフォーム					1240	20		640			1,900
		サーフウォーター					100		100	300			500
		フカダフロロウォーター									100		100
		ファイア-エイト			160	40	100	40	100	160	100	40	740
フレックスパンス			260								260		
照器 明具	照明装置					1			1			2	
	発電機・投光器			3	3	2	2	2	7	2	2	23	
測定器	移動投光器			2					1			3	
	有毒ガス測定器(複合器)			2	1	1	1	1	3	1	1	11	
	有毒ガス測定器(検知管式)			1		2			2			5	
	放射線測定器			1		3			5			9	
隊保護用具	ポケット線量計			9		5			13			27	
	空気呼吸器			11	3	8	3	3	18	3	3	52	
	酸素呼吸器					4			5			9	
	化学防護服	レベルA					4			5			9
		レベルB			10	10	10	10	0	10	5	5	60
		レベルC			8	7	10	8	8	18	7	6	72
	耐電衣			4		3			5			12	
耐熱服								2			2		
放射線防護服			4		3						7		
救助器具	防じん・防毒マスク			12	8	18	7	4	22	7	8	86	
	除染シャワー			1					1			2	
	救命索発射銃					1		1	1			3	
	可搬式消火器具								3			3	
	空気式救助マット			1					1			2	
	油圧スプレッダー					1		1	1			3	
	油圧切断機			1		1			2	1		5	
	マット型空気ジャッキ					2			2			4	
	エンジンカッター			1		1			1			3	
	ガス溶断器					1			1			2	
	エアーツール					1			1			2	
	可搬ウインチ			1		1			1			3	
	チェーンソー			2	1	2	1	1	2	1	1	11	
	削岩機					1			1			2	
	送排風機					1			2			3	
	船外機											0	
救命ゴムボート			2	1	1	1	1	3	2	1	12		
折りたたみボート			1					1			2		
レスキューボード				1				1			2		
検索器具	画像検索機					1			1			2	
	熱画像直視装置				1	1			3		1	6	
	地中音響探知機					1						1	
水防資器材等	つるはし			8	5	3	1	2	4	3	2	28	
	大ハンマー			6	1	4	1	2	6	1	2	23	
	鎌			6	12	10	3	2	3	1	2	39	
	スコップ			43	17	23	9	6	35	9	8	150	
	ジョレン			3	2	2	1	1	3	2	1	15	
	鍬			4	1	1	1	1	1			9	
	斧			4	2	2	1	1	8	3	3	24	
	なた			3	1	1	1	2	3	3	2	16	
	鋸			8	5	7	2	3	6	4	4	39	
	ボルトカッター			5	2	5	2	1	7	1	2	25	
	一輪車			2		1	1		1	1		6	
	土のう袋						260	32	433	43	33	801	
	土のう袋(土入り)			100	20	91	90	60	200	54	43	658	
	鉄杭			106	40	48	32	10	63	84	39	422	

## 消防相互応援に関する協定等

名 称	締結 (制定) 年月日	締結 (制定) 内容	締結 (関係) 先
神奈川県下消防相互応援協定	平成29年4月1日施行 (昭和50年7月25日締結)	火災やその他の災害が発生したとき、協定消防機関相互の消防力を活用し、被害を最小限度に防止することを目的とする。	県下23消防機関
神奈川県内消防広域応援実施計画	平成28年4月1日施行  (平成2年7月31日制定の神奈川県消防広域応援基本計画については廃止)	県内における大規模災害又は特殊災害発生による非常事態時に県及び県内消防機関が一致団結し区域を越え災害による被害を最小限に抑えることを目的とする。	県下23消防機関、 神奈川県
神奈川県下消防相互応援協定に基づく航空機特別応援実施要領	平成29年4月1日 (昭和57年5月12日施行)	災害発生地の市町が他の市町による回転翼航空機を用いた消防に関する応援を要請しようとする場合に、当該応援が円滑、かつ、迅速に行われるよう要請手続きその他必要な事項について定めることを目的とする。	県下23消防機関
災害時における相互応援に関する協定	平成18年8月18日締結	姉妹都市間において、災害が発生した場合に、被災市の要請にこたえ、応急対策及び復旧対策について相互に応援することを目的とする。	長野県上田市
	平成7年9月1日締結		栃木県足利市

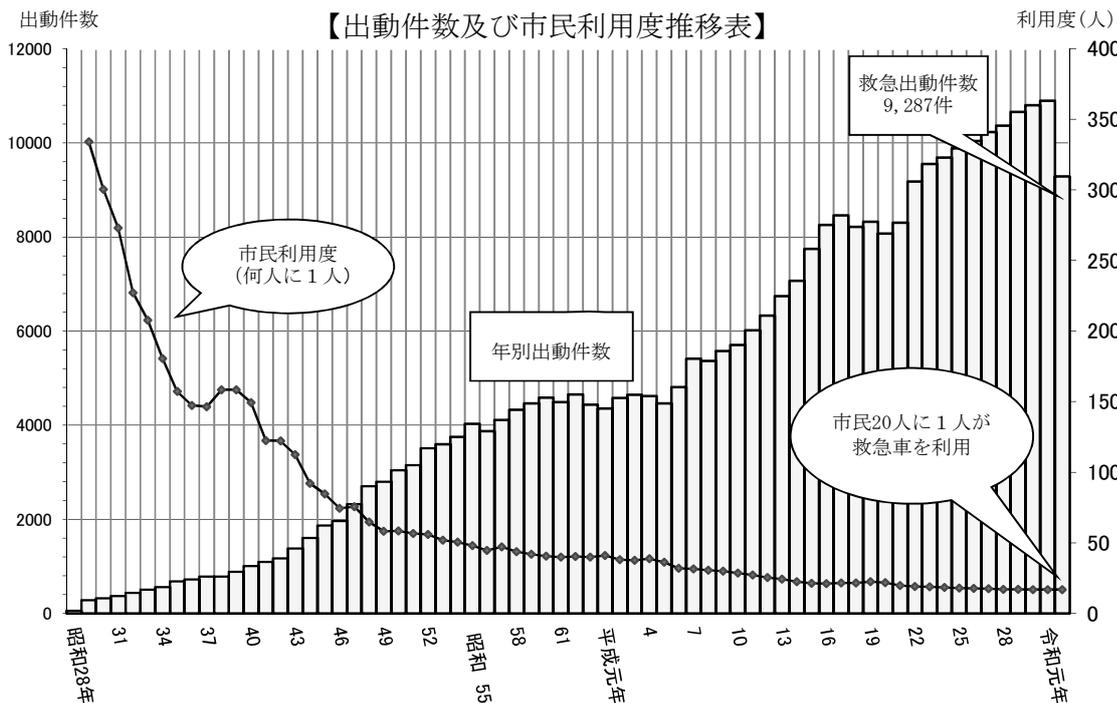
## 高層建築物等ヘリコプター緊急離着陸場等

令和3年(2021年)4月1日現在

建 物 名 称	緊急救助スペース
三菱電機(株)情報技術総合研究所東部第2研究棟	100 m <sup>2</sup>
医療法人 沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院	400 m <sup>2</sup>

## 救 急 出 動 の 推 移

年	人口 (10月1日)	出動件数 (件)	搬送人員 (人)	市民利用度 (何人に1人)	年	人口 (10月1日)	出動件数 (件)	搬送人員 (人)	市民利用度 (何人に1人)
29	90,916	283	272	334	63	175,995	4,433	4,347	40
30	91,328	325	304	300	平成元	175,769	4,354	4,273	40
31	91,756	374	336	273	2	174,307	4,578	4,495	41
32	92,470	438	407	227	3	174,019	4,644	4,570	38
33	93,874	510	452	208	4	173,492	4,617	4,608	38
34	95,559	561	529	181	5	172,638	4,460	4,445	39
35	98,617	683	627	157	6	171,815	4,812	4,731	36
36	102,352	723	694	147	7	170,329	5,415	5,313	32
37	106,591	785	728	146	8	168,569	5,368	5,320	32
38	110,801	783	699	159	9	167,661	5,577	5,455	31
39	116,039	890	777	149	10	167,136	5,707	5,567	30
40	118,329	1,011	966	122	11	167,627	6,016	5,835	29
41	120,782	1,095	987	122	12	167,585	6,329	6,157	27
42	124,770	1,174	1,109	113	13	167,437	6,744	6,545	26
43	129,961	1,379	1,408	92	14	167,693	7,069	6,872	24
44	135,124	1,607	1,593	85	15	168,724	7,746	7,506	22
45	139,249	1,868	1,869	75	16	169,866	8,255	7,947	21
46	143,217	1,968	1,894	76	17	171,512	8,459	8,107	21
47	148,049	2,327	2,282	65	18	172,784	8,218	7,969	22
48	154,533	2,705	2,653	58	19	173,263	8,325	7,998	22
49	159,870	2,799	2,737	58	20	173,439	8,070	7,713	22
50	165,552	3,043	2,918	57	21	174,164	8,302	7,952	22
51	168,183	3,152	3,008	56	22	174,354	9,179	8,787	20
52	170,997	3,515	3,289	52	23	174,290	9,552	9,134	19
53	172,981	3,594	3,426	50	24	174,162	9,687	9,212	19
54	173,331	3,751	3,605	48	25	173,523	9,886	9,392	18
55	172,629	4,030	3,854	45	26	173,530	10,037	9,629	18
56	173,392	3,875	3,675	47	27	172,902	10,232	9,757	18
57	173,850	4,111	3,964	44	28	172,337	10,368	9,857	17
58	174,656	4,327	4,156	42	29	172,284	10,656	10,032	17
59	175,510	4,463	4,330	41	30	172,204	10,798	10,097	17
60	175,495	4,586	4,429	40	令和元年	172,262	10,896	10,185	17
61	175,975	4,492	4,385	40	2	172,948	9,287	8,746	20
62	176,358	4,653	4,696	38					



# 救 急 出 動 状 況 ( 月 別 )

令和2年中

年 別 月 別	区 分	救 急 事 故 種 別											計
		火災	自然 災害	水難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	
1月	出動件数	1	0	0	43	9	3	212	1	5	644	43	961
	取扱件数	0	0	0	41	9	3	205	1	4	609	43	915
	搬送人員	0	0	0	41	9	3	205	1	4	614	43	920
2月	出動件数	0	1	0	37	1	3	162	3	5	528	46	786
	取扱件数	0	1	0	34	1	3	146	3	3	493	46	730
	搬送人員	0	1	0	34	1	3	146	3	3	495	46	732
3月	出動件数	1	0	0	39	6	0	171	2	5	461	49	734
	取扱件数	1	0	0	35	6	0	161	2	3	421	49	678
	搬送人員	1	0	0	36	6	0	163	2	3	422	49	682
4月	出動件数	1	0	1	25	4	0	141	0	3	414	45	634
	取扱件数	1	0	0	20	4	0	133	0	1	382	45	586
	搬送人員	1	0	0	20	4	0	133	0	1	382	45	586
5月	出動件数	0	0	1	29	3	1	117	2	3	421	35	612
	取扱件数	0	0	0	28	3	1	111	1	1	399	35	579
	搬送人員	0	0	0	29	3	1	112	1	1	399	35	581
6月	出動件数	0	0	0	40	7	0	160	3	2	461	55	728
	取扱件数	0	0	0	38	7	0	151	2	0	437	54	689
	搬送人員	0	0	0	41	7	0	151	2	0	437	54	692
7月	出動件数	0	0	0	23	7	2	165	6	3	457	44	707
	取扱件数	0	0	0	20	7	2	159	5	2	417	44	656
	搬送人員	0	0	0	20	7	2	159	5	2	417	44	656
8月	出動件数	0	0	1	38	14	5	150	2	8	599	52	869
	取扱件数	0	0	1	34	14	5	148	2	4	557	52	817
	搬送人員	0	0	1	35	14	5	150	2	4	558	52	821
9月	出動件数	0	0	1	45	10	3	154	2	4	512	72	803
	取扱件数	0	0	0	43	9	3	148	2	3	484	71	763
	搬送人員	0	0	0	45	9	3	148	2	3	484	71	765
10月	出動件数	0	0	1	38	3	2	198	4	6	516	50	818
	取扱件数	0	0	0	37	3	2	191	4	4	482	50	773
	搬送人員	0	0	0	41	3	2	191	4	4	482	50	777
11月	出動件数	0	0	0	49	9	2	167	1	5	500	63	796
	取扱件数	0	0	0	48	8	2	165	1	4	465	60	753
	搬送人員	0	0	0	48	8	2	166	1	4	465	60	754
12月	出動件数	0	0	0	32	7	1	185	6	7	542	59	839
	取扱件数	0	0	0	27	5	1	176	5	7	499	59	779
	搬送人員	0	0	0	27	5	1	176	6	7	499	59	780
年間	出動件数	3	1	5	438	80	22	1982	32	56	6055	613	9,287
	取扱件数	2	1	1	405	76	22	1894	28	36	5645	608	8,718
	搬送人員	2	1	1	417	76	22	1900	29	36	5654	608	8,746

# 救 急 出 動 状 況 ( 地 域 別 )

令和2年中

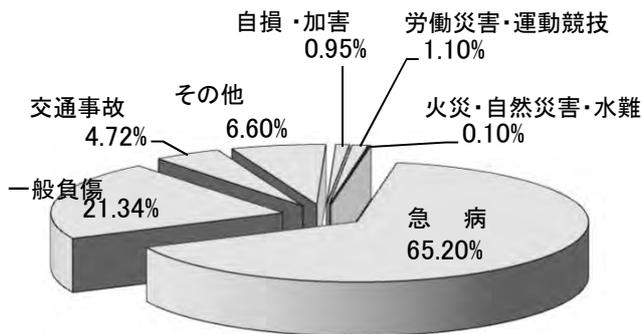
区 分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他				計	
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他		
出 動 件 数	小町	0	0	0	16	2	0	73	2	0	170	50	0	0	0	313
	大町	1	0	0	9	2	0	54	0	4	164	10	1	0	0	245
	扇ガ谷	0	0	0	1	0	0	27	0	0	50	0	0	0	0	78
	材木座	0	0	0	8	4	0	60	0	1	181	40	0	0	0	294
	由比ガ浜	0	0	0	21	3	0	58	3	5	159	13	0	0	1	263
	御成町	0	0	0	6	1	0	29	0	0	69	30	0	0	0	135
	笹目町	0	0	0	0	0	0	7	0	0	19	0	0	0	0	26
	佐助	0	0	0	4	0	0	12	2	1	37	0	0	0	0	56
	腰越	0	0	1	32	8	0	85	2	2	259	58	0	0	0	447
	津	0	0	0	5	1	0	29	2	2	110	1	0	0	0	150
	西鎌倉	0	0	0	6	1	0	38	0	1	125	5	0	0	0	176
	七里ガ浜	0	0	1	10	2	4	21	0	4	55	0	0	0	0	97
	七里ガ浜東	0	0	0	17	2	4	52	0	3	146	2	0	0	1	227
	津西	0	0	0	5	1	0	30	0	0	82	0	0	0	0	118
	手広	0	0	0	22	3	2	38	1	0	154	12	0	0	0	232
	稲村ガ崎	0	0	1	14	2	0	51	3	1	138	0	0	0	0	210
	梶原	0	0	0	6	2	2	67	0	0	165	23	0	0	0	265
	寺分	0	1	0	7	1	0	56	0	1	139	0	0	0	0	205
	上町屋	0	0	0	2	1	1	36	0	0	173	1	0	0	0	214
	笛田	0	0	0	13	2	0	44	0	1	281	86	0	0	0	427
	常盤	0	0	0	14	4	0	40	2	0	116	1	0	0	0	177
	鎌倉山	0	0	0	3	0	0	22	0	0	59	12	0	0	0	96
	長谷	0	0	0	6	1	0	29	0	2	98	21	0	0	0	157
	坂ノ下	0	0	2	11	0	0	9	0	0	67	0	0	0	0	89
	極楽寺	0	0	0	2	2	0	21	0	0	60	0	0	0	0	85
	西御門	0	0	0	1	0	0	5	0	1	32	0	0	0	0	39
	雪ノ下	0	0	0	17	2	1	30	0	1	96	7	0	0	0	154
	十二所	0	0	0	6	1	0	24	0	0	50	1	0	0	0	82
	浄明寺	0	0	0	6	0	0	60	0	4	127	0	0	0	0	197
	二階堂	0	0	0	7	0	0	30	0	1	84	0	0	0	0	122
	山ノ内	1	0	0	18	0	2	56	1	1	144	2	0	0	0	225
	小袋谷	0	0	0	5	0	0	15	0	0	91	9	0	0	0	120
	大船	0	0	0	41	13	1	269	10	6	642	163	0	0	0	1,145
高野	0	0	0	0	0	2	4	0	0	12	0	0	0	0	18	
岡本	0	0	0	22	5	0	88	1	4	254	26	0	0	0	400	
玉縄	0	0	0	9	0	1	35	0	0	95	0	0	0	0	140	
植木	0	0	0	8	0	1	38	0	0	166	1	0	0	0	214	
城廻	1	0	0	7	1	0	35	1	1	119	0	0	0	0	165	
関谷	0	0	0	5	2	0	34	0	0	104	0	0	0	0	145	
山崎	0	0	0	16	4	0	72	0	2	213	32	0	0	0	339	
台	0	0	0	13	2	0	62	0	3	234	2	0	0	0	316	
岩瀬	0	0	0	6	3	1	47	2	2	230	0	0	0	0	291	
今泉	0	0	0	4	1	0	41	0	2	114	0	0	0	0	162	
今泉台	0	0	0	5	1	0	49	0	0	166	1	0	0	1	223	
市 外	0	0	0	2	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	8	
計	3	1	5	438	80	22	1,982	32	56	6,055	609	1	0	3	9,287	

# 救急出動状況（時間別）

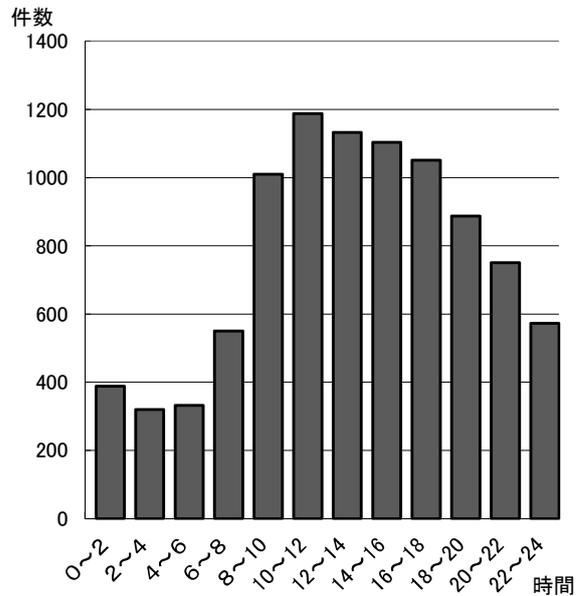
令和2年中

時間別	救急事故種別											計
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
0～2	0	0	0	10	4	0	69	8	2	291	4	388
2～4	0	0	0	3	2	0	44	2	4	254	11	320
4～6	0	0	0	13	1	0	71	0	2	235	10	332
6～8	0	0	0	35	1	0	111	0	5	387	11	550
8～10	0	0	0	60	10	0	224	1	3	669	43	1,010
10～12	0	1	1	49	22	7	265	1	1	691	150	1,188
12～14	1	0	0	52	9	3	250	3	7	681	127	1,133
14～16	1	0	1	64	13	7	256	3	7	660	92	1,104
16～18	0	0	2	70	9	5	255	4	7	602	97	1,051
18～20	0	0	1	43	4	0	180	4	7	604	44	887
20～22	1	0	0	22	3	0	151	4	5	553	12	751
22～24	0	0	0	17	2	0	106	2	6	428	12	573
合計	3	1	5	438	80	22	1982	32	56	6055	613	9,287

【救急事故種別の割合】



【時間別救急件数】



搬送人員状況（程度別・収容医療機関別）

令和2年中

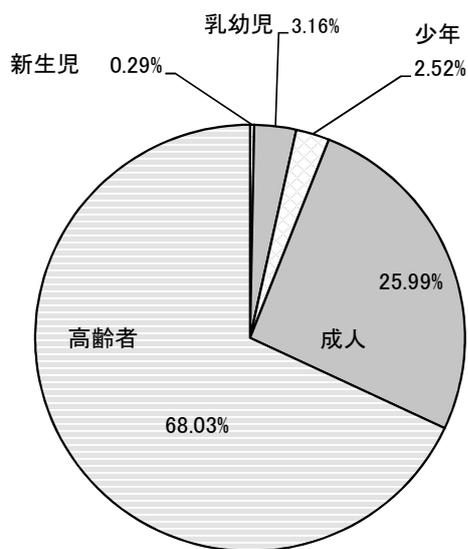
区 分		鎌倉救急隊	腰越救急隊	深沢救急隊	浄明寺救急隊	七里方浜救急隊	大船救急隊	玉縄救急隊	今泉救急隊	合 計	
傷 病 程 度	死 亡	19	15	22	7	9	12	21	15	120	
	重 症	107	86	124	42	55	134	69	75	692	
	中 等 症	680	431	766	339	352	786	532	477	4,363	
	軽 症	593	341	609	288	254	709	432	344	3,570	
	そ の 他	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
収 容 医 療 機 関	市 内	湘南鎌倉総合病院	1,069	690	1,230	523	514	1,222	907	512	6,667
		大船中央病院	128	55	69	48	36	276	62	264	938
		湘南記念病院	27	40	92	6	17	7	8	5	202
		鎌倉ヒロ病院	31	2	8	11	5	1	0	0	58
		清川病院	9	1	1	8	5	2	0	0	26
		ふれあい鎌倉ホスピタル	2	0	1	2	3	0	0	1	9
		鎌倉病院	59	7	17	25	21	3	0	0	132
		鈴木病院	1	14	4	0	10	0	2	0	31
		その他の病医院(接骨院等含む)	10	2	4	2	2	3	2	3	28
	市 外	湘南藤沢徳洲会病院	2	3	8	1	7	4	8	3	36
		藤沢市民病院	8	17	33	10	18	14	16	13	129
		藤沢脳神経外科病院	1	16	9	0	16	2	1	0	45
		横浜栄共済病院	14	14	31	11	7	71	17	90	255
		国立病院機構横浜医療センター	7	1	2	0	2	7	9	3	31
		横浜南共済病院	4	1	0	16	0	2	0	1	24
		済生会横浜市南部病院	5	1	2	1	1	8	2	6	26
		横浜市立大学付属病院(福浦)	2	2	1	2	0	3	1	2	13
		横浜市大センター病院(浦舟)	0	0	0	0	1	2	0	1	4
		県立こども医療センター	2	0	0	0	0	5	2	0	9
葉山ハートセンター	1	2	0	5	0	0	0	0	8		
市外その他の病医院	13	5	9	4	5	9	17	7	69		
搬 送 人 員 合 計		1,400	873	1,521	676	670	1,641	1,054	911	8,746	

## 搬送人員状況（年齢別）

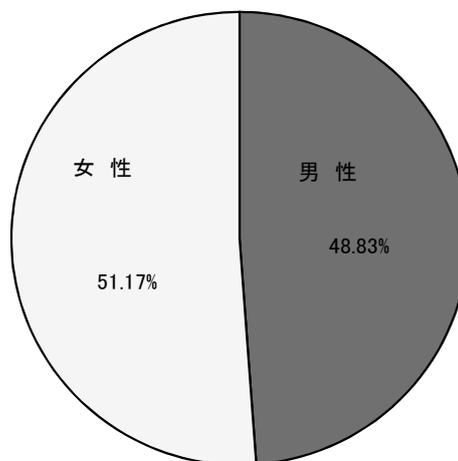
令和2年中

年齢別	性別		救急事故種別											計	
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
	男	女													
新生児 (生後28日以内)	15	12	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	24	27
乳幼児 (29日以上～7歳未満)	163	113	0	0	0	12	0	0	102	0	0	150	12	276	
少年 (7歳以上～18歳未満)	135	85	0	0	0	31	0	20	45	2	5	109	8	220	
成人 (18歳以上～65歳未満)	1,255	1,018	2	0	1	274	57	2	292	24	25	1,436	160	2,273	
高齢者 (65歳以上)	2,703	3,247	0	1	0	100	19	0	1,460	3	6	3,957	404	5,950	
合計	4,271	4,475	2	1	1	417	76	22	1,900	29	36	5,654	608	8,746	

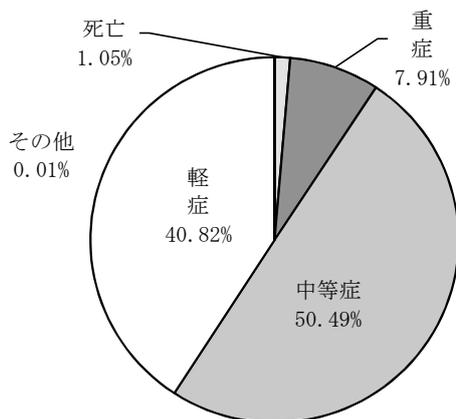
【年齢別搬送人員の割合】



【男女別搬送人員の割合】



【程度別搬送人員の割合】



## 救命講習等実施状況

区分	普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		上級救命講習		救命入門コース		合 計	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
6年中～ 16年中	512	11,505	24	598			450	10,476
17年中	79	1,886	3	29			82	1,915
18年中	138	3,069	3	88			141	3,157
19年中	152	3,446	11	308			163	3,754
20年中	146	3,704	13	346			159	4,050
21年中	123	3,068	10	287			133	3,355
22年中	150	4,187	10	260			160	4,447
23年中	156	3,961	10	275			166	4,447
24年中	139	3,940	7	187	14	405	160	4,532
25年中	156	4,080	6	137	24	601	186	4,818
26年中	142	3,819	7	156	16	379	165	4,354
27年中	133	3,512	7	135	20	445	160	4,092
28年中	133	3,451	6	115	23	549	162	4,115
29年中	128	3,288	8	135	19	446	155	3,869
30年中	138	3,436	8	155	21	576	167	4,167
元年中	108	2,942	8	147	29	662	145	3,751
2年中	4	41	1	18	0	0	5	59
合 計	2,537	63,335	142	3,376	166	4,063	2,759	69,358

## 救命の連鎖



急変した傷病者を救命し、社会復帰するために必要となる一連の行為を「救命の連鎖」と言います。  
「救命の連鎖」を構成する4つの輪が迅速につながると救命の効果が高まります。

※平成24年度から小児・乳幼児に対応した普通救命講習Ⅲを実施しています。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症まん延に伴い、すべての救急講習が従来通り開催できませんでした。

## 主な救急資機材の配置状況

令和3年(2021年)4月1日現在

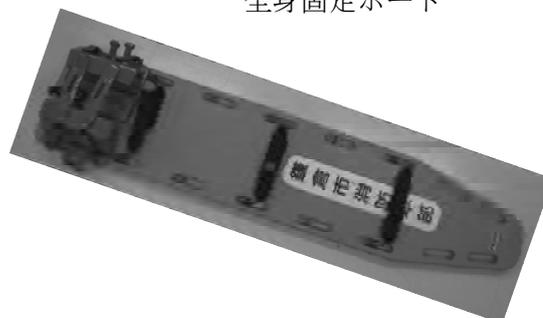
署所別		鎌倉	腰越	深沢	浄明寺	七里ガ浜	大船	玉縄	今泉
観察用資機材	除細動器 (AED)	3	2	2	2	2	4	2	2
	患者モニター	2	1	1	1	1	2	1	1
	パルスオキシメーター	2	1	1	1	1	2	1	1
呼吸循環管理資機材	人工呼吸器 (手動)	3	2	2	2	2	3	2	2
	人工呼吸器 (自動)	1	1	1	1	1	2	1	1
	携帯用吸引器	2	1	1	1	1	2	1	1
	喉頭鏡	2	1	1	1	1	2	1	1
固定搬送用資機材	減圧式固定具	2	1	1	1	1	2	1	1
	頸部固定具	2	1	1	1	1	2	1	1
	全身固定ボード	3	1	2	1	1	3	1	1
	小児用全身固定器具						1※		
特定行為等資機材	輸液セット	2	1	1	1	1	2	1	1
	食道閉鎖式エアウェイ等	2	1	1	1	1	2	1	1
	気管挿管セット	2	1	1	1	1	2	1	1
その他の資機材	リングカッター	2	1	1	1	1	2	1	1
	トリアージシート	1		1			1		
	防刃ベスト	6	3	6	3	3	12	3	3
	腰痛防止ベルト	9	3	5	3	3	11	6	6
	心肺蘇生訓練人形	12		8			10		

※小児用全身固定器具は、全身固定ボードに併用し使用します。

AED



全身固定ボード



## AED設置場所（公共施設）

令和3年(2021年)4月1日現在

1	鎌倉市役所1階ロビー	28	台在宅福祉センター	55	由比ガ浜こどもセンター
2	鎌倉市役所2階議会事務局	29	鎌倉市立第一小学校	56	あおぞら園
3	大船行政センター	30	鎌倉市立第二小学校	57	にかいどう子どもの家
4	玉縄行政センター	31	鎌倉市立御成小学校	58	深沢子ども会館
5	深沢行政センター	32	鎌倉市立稲村ヶ崎小学校	59	ふじづか子どもの家
6	腰越行政センター	33	鎌倉市立七里ガ浜小学校	60	しちりがはま子どもの家
7	鎌倉生涯学習センター	34	鎌倉市立腰越小学校	61	おおふな子どもの家
8	中央図書館	35	鎌倉市立西鎌倉小学校	62	おさか子どもの家
9	鎌倉体育館	36	鎌倉市立深沢小学校	63	やまさき子どもの家
10	大船体育館	37	鎌倉市立富士塚小学校	64	たまなわ子どもの家
11	鎌倉武道館	38	鎌倉市立山崎小学校	65	うえき子どもの家
12	鎌倉芸術館	39	鎌倉市立小坂小学校	66	だいいち子どもの家
13	鎌倉市福祉センター	40	鎌倉市立玉縄小学校	67	おなり子どもの家
14	鎌倉市教養センター	41	鎌倉市立植木小学校	68	いなむらがさき子どもの家
15	名越やすらぎセンター	42	鎌倉市立関谷小学校	69	こしごえ子どもの家
16	今泉さわやかセンター	43	鎌倉市立大船小学校	70	にしかまくら子どもの家
17	玉縄すこやかセンター	44	鎌倉市立今泉小学校	71	ふかさわ子どもの家
18	腰越なごやかセンター	45	鎌倉市立第一中学校	72	せきや子どもの家
19	鎌倉中央公園	46	鎌倉市立第二中学校	73	いまいずみ子どもの家
20	見田記念体育館	47	鎌倉市立御成中学校	74	笛田リサイクルセンター
21	たまなわ交流センター	48	鎌倉市立腰越中学校	75	川喜多映画記念館
22	玉縄青少年会館	49	鎌倉市立深沢中学校	76	名越クリーンセンター
23	鎌倉青少年会館 (フレンドリー鎌倉)	50	鎌倉市立手広中学校	77	今泉クリーンセンター
24	鎌倉文学館	51	鎌倉市立大船中学校	78	鎌倉消防署
25	鎌倉国宝館	52	鎌倉市立玉縄中学校	79	大船消防署
26	鎌倉海浜公園プール	53	鎌倉市立岩瀬中学校		
27	鍋木清方記念美術館	54	深沢こどもセンター		



## AED設置場所（コンビニ）

令和3年(2021年)4月1日現在

1	ミニストップ鎌倉十二所店	28	ローソン大船西口店
2	ファミリーマート鎌倉雪ノ下店	29	セブン・イレブン鎌倉玉縄店
3	ファミリーマート鎌倉駅東口店	30	ローソン鎌倉玉縄一丁目店
4	ローソン鎌倉小町一丁目店	31	ファミリーマート鎌倉植木店
5	ファミリーマート鎌倉二の鳥居店	32	セブン・イレブン鎌倉城廻東店
6	セブン・イレブン鎌倉小町2丁目店	33	セブン・イレブン城廻店
7	ローソン鎌倉名越店	34	ローソン・スリーエフ北鎌倉店
8	ローソン・スリーエフ鎌倉由比ガ浜店	35	ローソン鎌倉台四丁目店
9	ローソン鎌倉由比ガ浜通り店	36	ローソンスリーエフ鎌倉台店
10	ファミリーマート鎌倉御成町店	37	ミニストップ大船店
11	ファミリーマート鎌倉駅西口店	38	ファミリーマート大船駅前店
12	ファミリーマート鎌倉長谷店	39	ファミリーマート大船駅東口店
13	セブン・イレブン鎌倉観音前店	40	ファミリーマート大船仲通店
14	ローソン鎌倉坂ノ下店	41	ローソン大船一丁目店
15	セブン・イレブン鎌倉稲村が崎店	42	ファミリーマート大船一丁目店
16	ローソン西鎌倉二丁目店	43	ローソン鎌倉大船2丁目店
17	セブン・イレブン鎌倉七里ガ浜店	44	セブン・イレブン鎌倉大船2丁目店
18	セブン・イレブン鎌倉津西店	45	ファミリーマート大船二丁目店
19	ファミリーマート鎌倉津店	46	セブン・イレブン小袋谷店
20	セブン・イレブン鎌倉深沢店	47	ローソン大船四丁目店
21	セブン・イレブン鎌倉山崎店	48	セブン・イレブン鎌倉大船6丁目店
22	セブン・イレブン鎌倉湘南町屋駅前店	49	セブン・イレブン鎌倉岩瀬店
23	ミニストップ鎌倉手広店	50	ローソン鎌倉岩瀬店
24	セブン・イレブン鎌倉手広西店	51	セブン・イレブン鎌倉岩瀬北店
25	セブン・イレブン鎌倉常盤店	52	ファミリーマート鎌倉谷戸之前店
26	ローソン鎌倉梶原店	53	ローソン大船中学校南店
27	セブン・イレブン鎌倉市役所通り店	54	ローソン鎌倉富士見町駅前店



## 救急協力事業所

消防本部では、救急事案が発生した場合に消防機関への通報やAED（自動体外式除細動器）を用いた心肺蘇生法などの適切な応急手当、救急隊への支援・協力を積極的に行うことができる事業所を認定しています。

令和3年(2021年)4月1日現在

1	カドキホール	36	東京カ*スネットワーク株式会社東京カ*スライバル湘南鎌倉店
2	鎌倉スポーツクラブ	37	東急ストア鎌倉店
3	鎌倉女子大学大船キャンパス	38	株式会社鎌倉ファミリー
4	鎌倉女子大学岩瀬キャンパス	39	鎌倉ライフホームえん
5	湘南モノレール大船駅	40	ルネサンスリハビリセンター大船
6	株式会社ルミネウィング大船	41	神奈川県鎌倉保健福祉事務所
7	江ノ島電鉄株式会社	42	宗教法人日本キリスト教団鎌倉教会
8	株式会社イトーヨーカドー大船店	43	ドコモショップ鎌倉店
9	鎌倉学園中学校高等学校	44	清泉小学校
10	由比ガ浜地下駐車場	45	特養鎌倉静養館
11	三菱電機ライフサービス株式会社湘南支社	46	東日本旅客鉄道株式会社鎌倉駅
12	鎌倉プリンスホテル	47	鎌倉婦人子供会館
13	ダイヤモンド鎌倉別邸ソサエティ	48	株式会社ベネッセスタイルケアグランダ深沢鎌倉
14	カトリック雪ノ下教会	49	パタゴニア・インターナショナル・インク
15	ホームセンターコーナン鎌倉大船店	50	深沢幼稚園アワーキッズ鎌倉分園
16	鎌倉パークホテル	51	アワーキッズ鎌倉本園
17	長谷寺	52	徳洲会スポーツセンターかまくら
18	建長寺	53	グランダ鎌倉山
19	三菱電機株式会社情報技術総合研究所	54	湘南・横浜若者サポートステーション
20	富士見町町内会	55	日本私立学校振興共済事業団鎌倉保養所あじさい荘
21	鶴岡八幡宮	56	鎌倉清和由比
22	鎌倉宮	57	鎌倉彫協同組合
23	デンカ株式会社大船工場	58	株式会社大倉製作所
24	公益財団法人鎌倉市公園協会	59	鎌倉宮カントリーテニスクラブ
25	東日本旅客鉄道株式会社大船駅	60	鎌倉小町商店会
26	株式会社マツヤ	61	クロスハート十二所・鎌倉
27	シンロイヒ株式会社	62	福村歯科
28	カーブス大船	63	相鉄フレッサイн鎌倉大船
29	ミハル通信株式会社	64	おおぞら幼稚園
30	鎌倉税務署	65	又吉歯科医院
31	株式会社ベネッセスタイルケア鎌倉山荘	66	神奈川県立大船高等学校
32	玉縄幼稚園	67	湘南鎌倉人工関節センター
33	障害福祉サービス事業所工房ひしめき	68	和風レストランとんでん北鎌倉店
34	二階堂親和会	69	株式会社富士住建鎌倉営業所
35	今泉内町内会	70	極真会館湘南支部大船道場

71	しろた歯科	106	北鎌倉商栄会
72	ホテルメッツかまくら大船	107	カトリック横浜司教区大船教会
73	介護老人福祉施設ラペ鎌倉	108	ショートステイパイル
74	鎌倉パブリックゴルフ場	109	グループホームふあいと今泉の里
75	鎌倉カントリークラブ	110	出張美容 LOCO～ロコ～
76	株式会社江ノ電バス横浜鎌倉営業所	111	成福寺
77	岩瀬保育園	112	レーベンスガルテン山崎自治会
78	ココファンメゾン鎌倉山	113	鎌倉広町緑地管理事務所
79	特別養護老人ホームふれあいの泉	114	グループホーム小袋谷3・4
80	こもれび山崎温水プール	115	社会福祉法人つきかけ会明照フラワーガーデン
81	報国寺	116	林歯科クリニック
82	クリエイトSD鎌倉材木座店	117	湘南モノレール株式会社
83	鎌倉女学院	118	岡澤道場総本部サイクロンジム大船
84	エルダーホームケア西鎌倉	119	鎌倉松原庵
85	円覚寺	120	大東建託リーシング株式会社大船店
86	きしろホーム	121	花物語かまくら
87	葬祭の板橋大船ほうさい殿	122	鎌倉市シルバー人材センター
88	鎌倉児童ホーム		
89	鎌倉ローンテニス倶楽部		
90	トヨタモビリティ神奈川鎌倉深沢店		
91	スタンレーサーフサイド		
92	鎌倉霊園		
93	寺分保育園		
94	トヨタモビリティ神奈川大船笠間店		
95	龍口明神社		
96	株式会社横浜銀行鎌倉支店		
97	野村証券株式会社鎌倉支店		
98	巴機械工業株式会社		
99	神奈川県水難救済会 腰越救難所		
100	鎌倉早見美容芸術専門学校		
101	北鎌倉女子学園中学校高等学校		
102	かいひん荘鎌倉		
103	ケアホーム鎌倉深沢		
104	神奈川県企業庁鎌倉水道営業所		
105	Fit Care MART鎌倉今泉店		



# 指令情報





# 高機能消防指令センター機器・通信機器一覧表

令和3年(2021年)4月1日現在

高機能消防指令センター機器					
種 別		数 量	種 別		数 量
指 令 装 置	指令台	3台	気象観測装置		2式
	指揮台	1台	気象webサーバー(市イントラ公開用)		1式
	無線統制台(指令台機能)	1台	市民案内(テレホンサービス)		1式
	指令制御装置	1式	災害緊急情報伝達装置		1式
	自動出動指定装置	1式	Eメール指令装置		1式
	地図検索装置	1式	Eメール119受信システム (補助用携帯電話器含む)		1式
	非常用指令装置(指令制御装置機能)	1式	システム監視装置		1式
	長時間録音装置	1式	支援情報制御装置		1式
	署所端末装置	8式	支援情報端末装置		60台
	無線受令装置	7式	119番通報補助電話		2台
	署所放送用設備	8式	無停電電源設備		10式
	指令伝送装置	8式	直流電源装置		1式
	順次指令装置	1式	非常用発動発電機		5式
	音声合成装置	2式	出動車両運用管理装置		1式
	総 合 表 示 盤	車両運用表示盤	各1式	車両運用端末装置	
支援情報表示盤		ネットワーク装置		1式	
多目的情報表示盤		セキュリティ装置		1式	
表示盤制御装置		統合型位置情報システム		1式	
情報共有webサーバー		1台	表示盤端末装置		1式
情報共有端末		11台	駆込み通報装置		8式
			NET119緊急通報システム		1式

通 信 機 器						
種 別		数 量	種 別		数 量	
119 専 用 回 線	NTT加入電話	ISDN 4回線	テレホンサービス用加入回線 (情報提供は同時20通話可能)		1回線	
	I P 電話(加入電話に重畳) (NTT東日本・KDDI・ソフトバンクテレコム・アールリア)		災害緊急情報伝達装置用回線		1回線	
	携帯電話 (NTTドコモ・au・ソフトバンクモバイル・楽天モバイル)	ISDN 2回線	電 話 交 換 機		8台	
	他市消防局(本部)転送用	ISDN 2回線	出退表示盤(メッセージボード)		5台	
	BS回線・非常用回線	各1回線	NTT 専 用 回 線	指令書・事務処理用回線・内線専用回線		8回線
	本部一般加入回線(大船消防署含む)	ISDN 5回線		内線専用回線		3回線
	本部ダイヤルイン番号(大船消防署含む)	25回線		防災行政用無線専用回線		1回線
	本部一般内線回線(PHS含む)	82回線	インターネット回線		1回線	
	指令台用加入回線	2回線	119番FAX複合機		1台	
	指令台用内線回線	2回線	車載等携帯電話		48台	
署所一般加入回線(鎌倉のみISDN2回線)	8回線	事務用FAX回線		10回線		
署所一般内線回線(PHS含む)	53回線					

そ の 他						
種 別		数 量	種 別		数 量	
市	鎌倉市防災行政用無線	1式	国	J-ALERT(全国瞬時警報システム)		1式
	災害対策用専用回線	1回線		県	県防災行政通信網端末 (ラインワークス含む)	
	計測震度計用回線	1回線				

# 無線通信施設一覽表

令和3年(2021年)4月1日現在

種 別		局数	配 置 場 所		
固 定 局		2局	消防本部・野村	活動波1.2 各1式 主運用波 1式	
基 地 局		2局	野村総研跡地	統制波1.2.3 各1式 防災相互波 1式	
			七里ガ浜出張所	活動波3 1式	
陸上移動局	可 搬 型	5W	2局	鎌倉消防署 大船消防署	1台 1台
	車 載 型	5W	34局	消防本部 各署所	5台 29台
	携 帯 型	1W・5W	26局	消防本部(指令情報課) 各署所	10台 16台
	署活動用携帯型	1W	38局	消防本部(指令情報課) 各署所	2台 36台
	卓 上 型	5W	7局	各署所	7台

## 無線機（陸上移動局）及び車載等携帯電話配置場所

配 置 場 所	可搬型	車載型	携 帯 型	署活動用	卓上型	携 帯 電 話	
	5W	5W	1W・5W	1W	5W		
消防本部		5台	10台	2台		1台	警防救急課
鎌倉消防署	1台	7台	5台	8台	1台	3台	鎌倉隊・鎌倉救急隊 指令車(水上バイク)
腰越出張所		2台	1台	3台	1台	2台	腰越隊・腰越救急隊
深沢出張所		3台	1台	3台	1台	2台	鎌倉救助隊・深沢救急隊
浄明寺出張所		2台	1台	3台	1台	2台	浄明寺隊・浄明寺救急隊
七里ガ浜出張所		2台	1台	3台	1台	2台	七里ガ浜隊・七里ガ浜救急隊
大船消防署	1台	9台	5台	10台		4台	大船隊・大船救助隊 大船救急隊・指令車
玉縄出張所		2台	1台	3台	1台	2台	玉縄隊・玉縄救急隊
今泉出張所		2台	1台	3台	1台	2台	今泉隊・今泉救急隊
合 計	2台	34台	26台	38台	7台	20台	

## 無線機搭載周波数

種 別		周波数	基 地 局	陸 上 移 動 局			
				可 搬 型	車 載 型	携 帯 型	卓上型
活動波	活動波1	非公開	1	2	34	18	7
	活動波2	非公開	1	2	34	18	7
	活動波3	非公開	1	2	34	18	7
共通波	統制波1	非公開	1	2	34	18	7
	統制波2	非公開	1	2	34	18	7
	統制波3	非公開	1	2	34	18	7
	主運用波	非公開	1	2	34	18	7
	防災相互波	非公開	1	0	34	8	0
署活動波	1c h 2c h	鎌倉専用波	0	0	0	38	0
	3c h	関東共通波					
	4c h	防災相互波					

# 119番受信状況

令和2年中

月別	回線種別 小計	火	災	救	急	救	助	その 他の 害	試 験	いた ずら	まち がい	そ の 他	合 計	
1	加入電話	1		205			1					9	62	280
	I P 電話	3		412								10	77	505
	携帯電話	2		304						2		14	130	454
	小計	6		921			1	0		7	2	33	269	1,239
2	加入電話			169								3	59	234
	I P 電話			284								2	63	349
	携帯電話	2		306			1				2	14	124	449
	小計	2		759			1	0		3	2	19	246	1,032
3	加入電話	1		149								2	45	206
	I P 電話			309			1					6	61	378
	携帯電話	1		236								14	126	381
	小計	2		694			1	0		14	0	22	232	965
4	加入電話			128								1	39	168
	I P 電話			233			1					4	48	289
	携帯電話	1		248						1		13	105	369
	小計	1		609			1	0		5	1	17	192	826
5	加入電話			122								4	30	162
	I P 電話	1		242				3				3	58	307
	携帯電話	4		229							1	17	99	350
	小計	5		593			0	3		4	1	26	187	819
6	加入電話			153			1	1	1			3	45	204
	I P 電話	1		299								4	37	343
	携帯電話	2		260							2	7	107	378
	小計	3		712			1	1	3	2		14	189	925
7	加入電話			161			1	1	3			3	41	210
	I P 電話			269								2	45	317
	携帯電話			262							1	21	127	411
	小計	0		692			1	2	3	1		26	213	938
8	加入電話											2	40	46
	I P 電話			344				1			3	1	55	404
	携帯電話			319							2	20	146	487
	小計	0		663			0	1	4	5		23	241	937
9	加入電話			189								8	36	234
	I P 電話			330			1					6	43	383
	携帯電話			263			1					11	114	404
	小計	0		782			2	0	25	0		19	193	1,021
10	加入電話			171								8	34	220
	I P 電話			318								4	52	379
	携帯電話			295			2				1	11	114	423
	小計	0		784			2	0	12	1		23	200	1,022
11	加入電話			150								1	3	205
	I P 電話	1		325								2	60	388
	携帯電話	1		289			1	1	2			14	125	433
	小計	2		764			1	2	5	1		19	232	1,026
12	加入電話			178								6	37	225
	I P 電話	1		348				1				2	47	403
	携帯電話	3		288			2					15	150	458
	小計	4		814			2	1	6	2		23	234	1,086
加入電話		2	1,775			3	3	52		1	43	515	2,394	
I P 電話		7	3,713			3	6	19		5	46	646	4,445	
携帯電話		16	3,299			7	1	20		12	175	1,467	4,997	
合計		25	8,787			13	10	91		18	264	2,628	11,836	

消防本部・大船消防署 年間気象観測データ（令和2年）

【月別データ】

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
風 向 風 速	最 多 風 向	北北東	北北東	北北東	北北東	南南西	南南西	南南西	南	北	北北東	北北東	北北東	
	平 均 風 速 (m/s)	1.9	2.3	2.8	2.9	2.9	2.6	3.4	2.4	2.7	2.7	2.1	1.7	
	最大瞬間	風 向	北	西南西	南南西	南	南南西	南南西	南	南南西	西南西	北北東	西南西	南南西
		風 速 (m/s)	15.0	21.0	2.8	2.9	2.9	2.6	3.4	2.4	2.7	2.2	2.1	1.7
		計測日	1月29日	2月22日	3月27日	4月18日	5月10日	6月30日	7月8日	8月11日	9月7日	10月30日	11月20日	12月24日
	計測時刻	2時07分	15時10分	11時36分	12時10分	10時48分	22時00分	9時26分	13時46分	17時03分	19時42分	14時29分	13時17分	
気 温 (℃)		7.7	9.0	11.2	13.6	19.6	23.2	24.3	28.7	24.7	18.0	14.9	8.5	
相 対 湿 度 (%)		60.8	52.2	62.0	61.9	73.8	81.8	88.4	78.5	80.8	70.9	63.1	59.4	
実 効 湿 度 (%)		61.0	51.7	61.9	62.0	73.6	81.5	88.5	78.5	81.3	71.1	62.8	59.8	
気 圧 (hPa)		1014.9	1016.9	1012.1	1010.9	1009.6	1005.8	1007.5	1009.4	1010.5	1015.4	1018.5	1015.1	
雨 量 (mm)		112.0	41.5	159.0	222.0	81.0	223.5	352.5	9.0	112.0	189.0	8.0	18.5	
累 計 雨 量 (mm)		112.0	153.5	312.5	534.5	615.5	839.0	1191.5	1200.5	1312.5	1501.5	1509.5	1528.0	
降 雨 (日数)	113	9	8	11	10	6	12	22	2	18	9	3	3	

\*気温・相対湿度・実効湿度・気圧は1か月の平均値。

【年間データ】

観 測 状 況	観測データ	観 測 日 時	観 測 状 況	観測データ	観 測 日 時
最大瞬間風速 (m/s)	23.3	7月8日 9時26分	最大実効湿度 (%)	96.2	10月10日 23時01分
最大瞬間風向	南		最低実効湿度 (%)	31.6	2月5日 22時01分
平均風速 (m/s)	2.5	7月8日 9時21分	平均実効湿度 (%)	71.0	
最多風向	南南西		最大気圧 (hPa)	1034.9	2月21日 8時09分
最大平均風速 (m/s)	11.5		最低気圧 (hPa)	984.1	12月30日 14時09分
最大平均風向	北北東		平均気圧 (hPa)	1012.2	
最高気温 (℃)	34.9	8月16日 10時59分	最大日雨量 (mm)	74.0	10月10日
最低気温 (℃)	-0.5	12月18日 4時13分	年間総雨量 (mm)	1528.0	
平均気温 (℃)	17.0		降雨日数 (日)	113	
最大相対湿度 (%)	99.9	2月17日 00時22分			
最低相対湿度 (%)	9.7	3月20日 9時55分			
平均相対湿度 (%)	69.5				

# 鎌倉消防署 年間気象観測データ (令和2年)

## 【月別データ】

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
風向 風速	最多風向	北北東	北北東	北北東	北北東	南西	南南西	南南西	南南西	北	北北東	北北東	北北東	
	平均風速 (m/s)	3.2	3.8	4.2	4.4	4.2	3.7	5.1	3.5	4.1	3.4	3.5	3.0	
	最大瞬間	風向	北北西	南西	南西	南南西	西南西	南西	南南西	南西	西南西	北北東	西南西	西南西
		風速 (m/s)	19.1	28.1	22.2	27.9	22.9	23.1	28.0	16.4	20.9	16.4	21.3	21.9
		計測日	1月29日	2月17日	3月28日	4月18日	5月10日	6月30日	7月8日	8月9日	9月7日	10月10日	11月28日	12月14日
	計測時刻	2時25分	19時46分	1時44分	12時27分	14時01分	17時36分	9時45分	9時22分	17時01分	22時04分	2時32分	3時27分	
気温 (℃)		7.9	9.2	11.2	13.6	19.2	22.8	24.0	28.4	24.7	18.1	15.2	8.9	
相対湿度 (%)		60.8	53.1	63.9	64.4	78.5	85.5	91.3	82.9	82.2	71.1	63.5	58.2	
実効湿度 (%)		61.0	52.6	63.7	64.3	78.4	85.1	91.4	83.0	82.5	71.4	63.2	58.7	
気圧 (hPa)		1015.0	1017.0	1012.3	1011.2	1009.9	1006.1	1007.8	1009.8	1010.7	1015.5	1018.6	1015.2	
雨量 (mm)		111.5	29.5	160.0	225.5	71.0	225.0	334.0	1.5	97.5	172.0	7.0	16.5	
累計雨量 (mm)		111.5	141.0	301.0	526.5	597.5	822.5	1156.5	1158.0	1255.5	1427.5	1434.5	1451.0	
降雨 (日数)		113	9	7	11	10	8	12	20	2	18	9	4	3

\*気温・相対湿度・実効湿度・気圧は1か月の平均値。

## 【年間データ】

観測状況	観測データ	観測日時	観測状況	観測データ	観測日時
最大瞬間風速 (m/s)	28.1	2月17日 19時46分	最大実効湿度 (%)	97.0	7月11日 6時01分
最大瞬間風向	南西		最低実効湿度 (%)	32.1	2月6日 22時01分
平均風速 (m/s)	3.8	7月8日 9時48分	平均実効湿度 (%)	71.3	
最多風向	北北東		最大気圧 (hPa)	1035.1	2月21日 10時10分
最大平均風速 (m/s)	19.4		最低気圧 (hPa)	984.2	12月30日 14時07分
最大平均風向	南西		平均気圧 (hPa)	1012.4	
最高気温 (℃)	35.1	8月16日 14時45分	最大日雨量 (mm)	74.5	6月28日
最低気温 (℃)	0.0	2月7日 3時58分	年間総雨量 (mm)	1451.0	
平均気温 (℃)	16.9		降雨日数 (日)	113	
最大相対湿度 (%)	99.9	2月17日 00時04分			
最低相対湿度 (%)	9.1	3月20日 9時41分			
平均相対湿度 (%)	71.3				

# 年間気象観測データ（令和2年）

## 【天気概要】

※6時00分から18時00分までの平均天候

項目/月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
快晴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
晴	15	23	21	21	16	10	4	29	5	14	23	21	202
曇	11	5	4	6	0	15	18	2	13	9	7	7	97
雨	5	1	6	3	5	5	9	0	12	8	0	1	55
雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
霧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

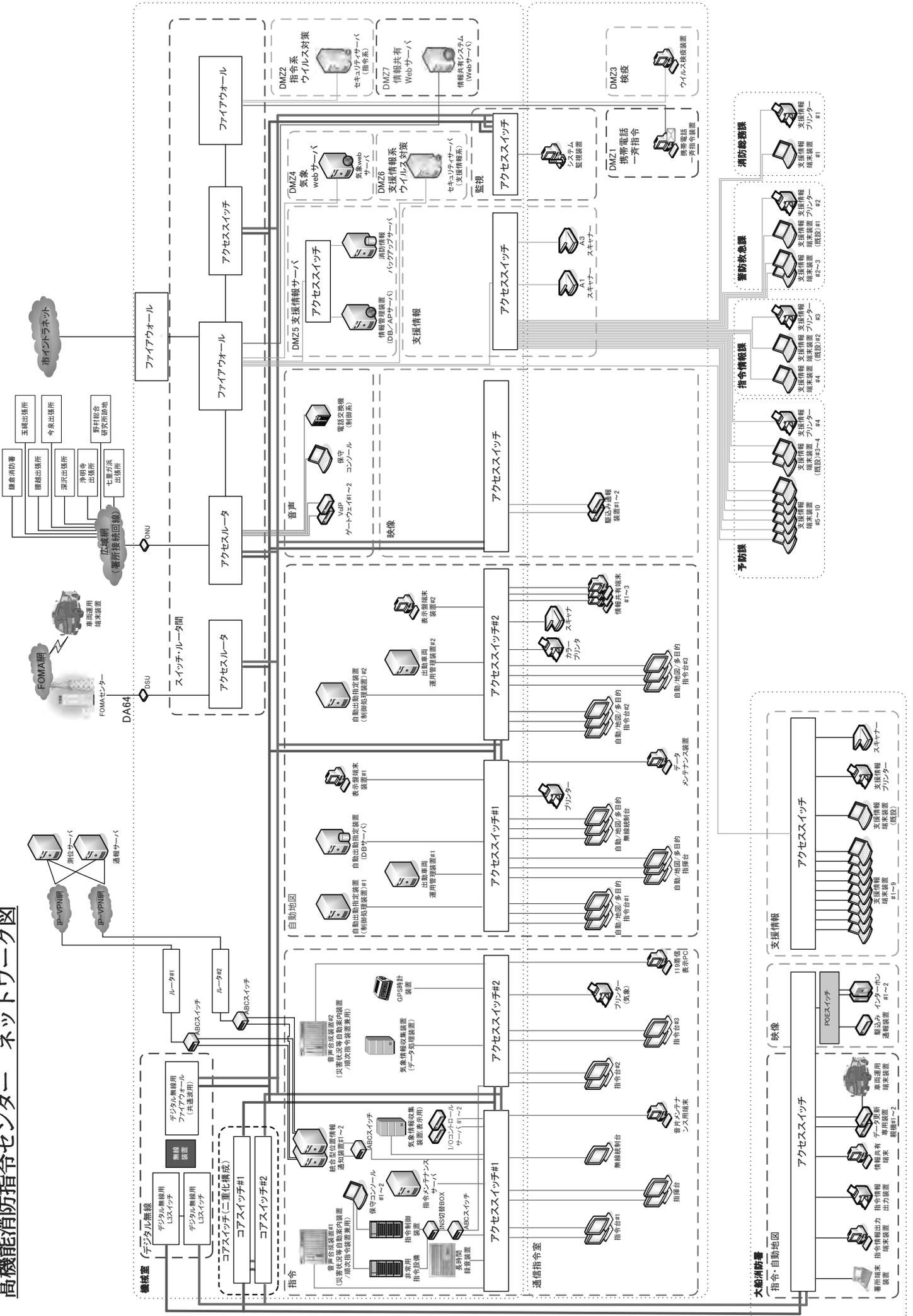
## 【月別気象警報・注意報発表状況】

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
警報	暴風雪													0
	大雨				1		1	3			1			6
	洪水				1			1						2
	暴風													0
	大雪													0
	波浪													0
	高潮													0
注意報	風雪	1												1
	大雨	1		2	4	1	4	6	1	4	1			24
	洪水				1		1	1						3
	強風	10	9	10	14	7	8	4	4	5	6	8	7	92
	大雪													0
	波浪	3	3	3	4	1	3	2		2	2		1	24
	高潮													0
	雷	3	3	4	9	6	10	13	15	12	2	1	1	79
	融雪													0
	濃霧	1	2	1	1	5	3	2	3			1		19
	乾燥	2	4	5	2	1					1	2	2	19
	なだれ													0
	低温													0
	霜													0
	着氷													0
津波													0	
光化学スモッグ													0	

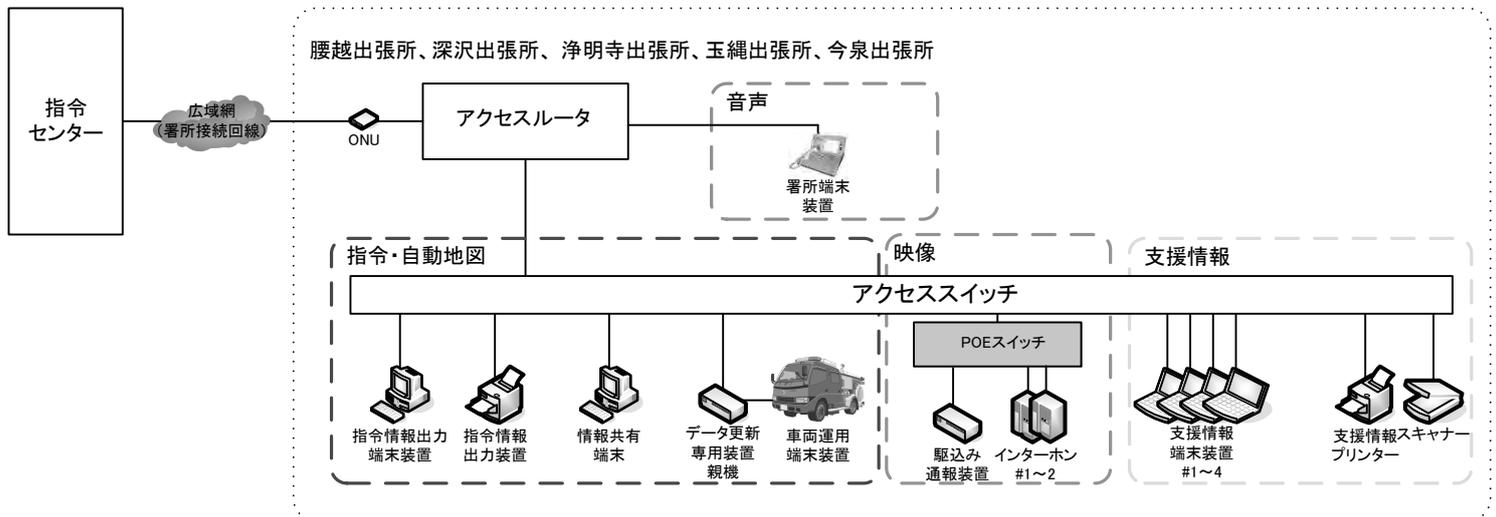
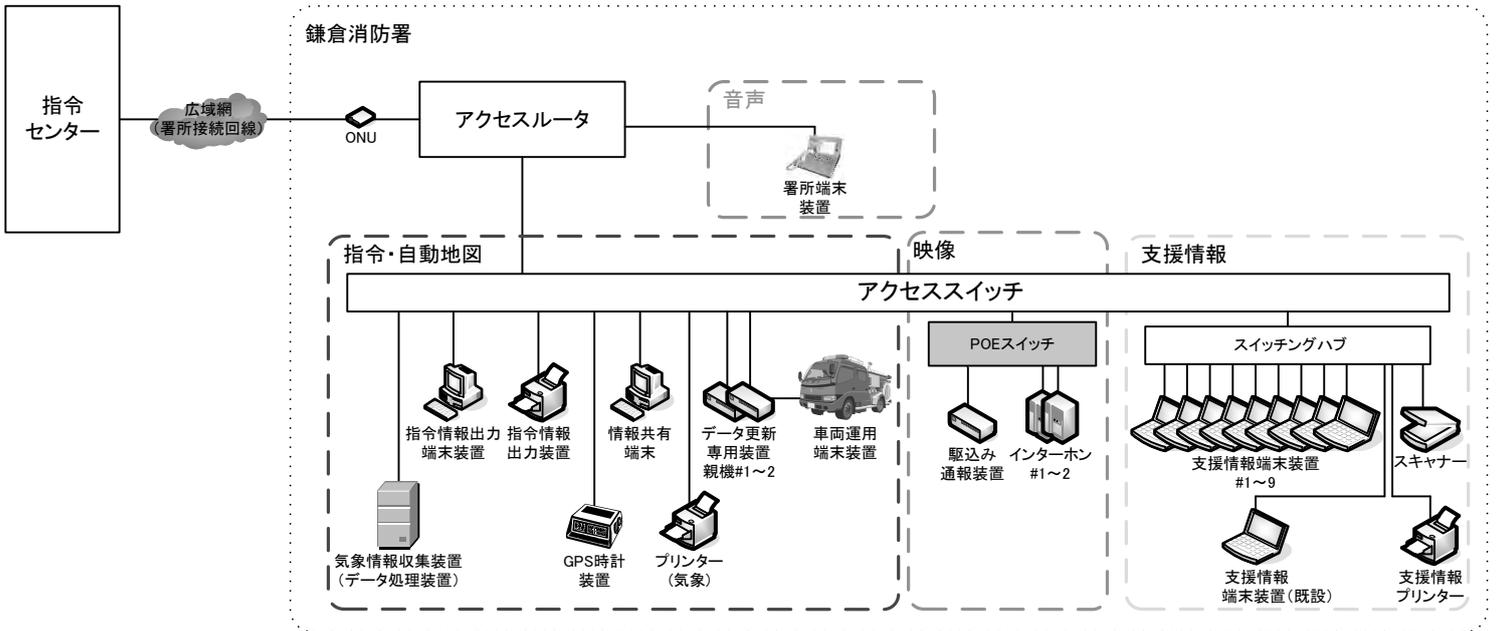
## 【月別気象情報】

項別/月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
火災気象通報				5	3		31	0					39
火災予防	11	31	28	17									87
大雨				5	3	12	40	12	10				82
大雨と雷及び突風								7	3				10
大雨と高波				5			1		5				11
大雨と雷及び高波				6									6
高波と雷及び突風		1	1			2							4
大雨と雷及び降ひょう													0
台風													0
雷と突風及び降ひょう													0
高温注意情報													0
津波													0
大雪			4										4
雪	5												5
風						3			2	1	8	4	18
風雨						5	8		3	2	1	2	21
風雨及び風									3	3			6
大雪と雷及び突風	3												3
土砂災害警戒情報													0
高波と強風及び雷													0
強風と高波及び雷													0
乾燥										1	4	13	18
大雨と高波及び突風						1	1		4				6
高波		9	1										10
高波と強風	5												5
竜巻				3			4		5				12
台風									4	6			10
土砂災害									4				4
異常天候早期警戒（高温）								32	5				37
高波と雪			1										1
震源・震度情報		2		5		1					1	6	15
地震の活動状況等		1				1		1					3
記録的短時間大雨情報													0

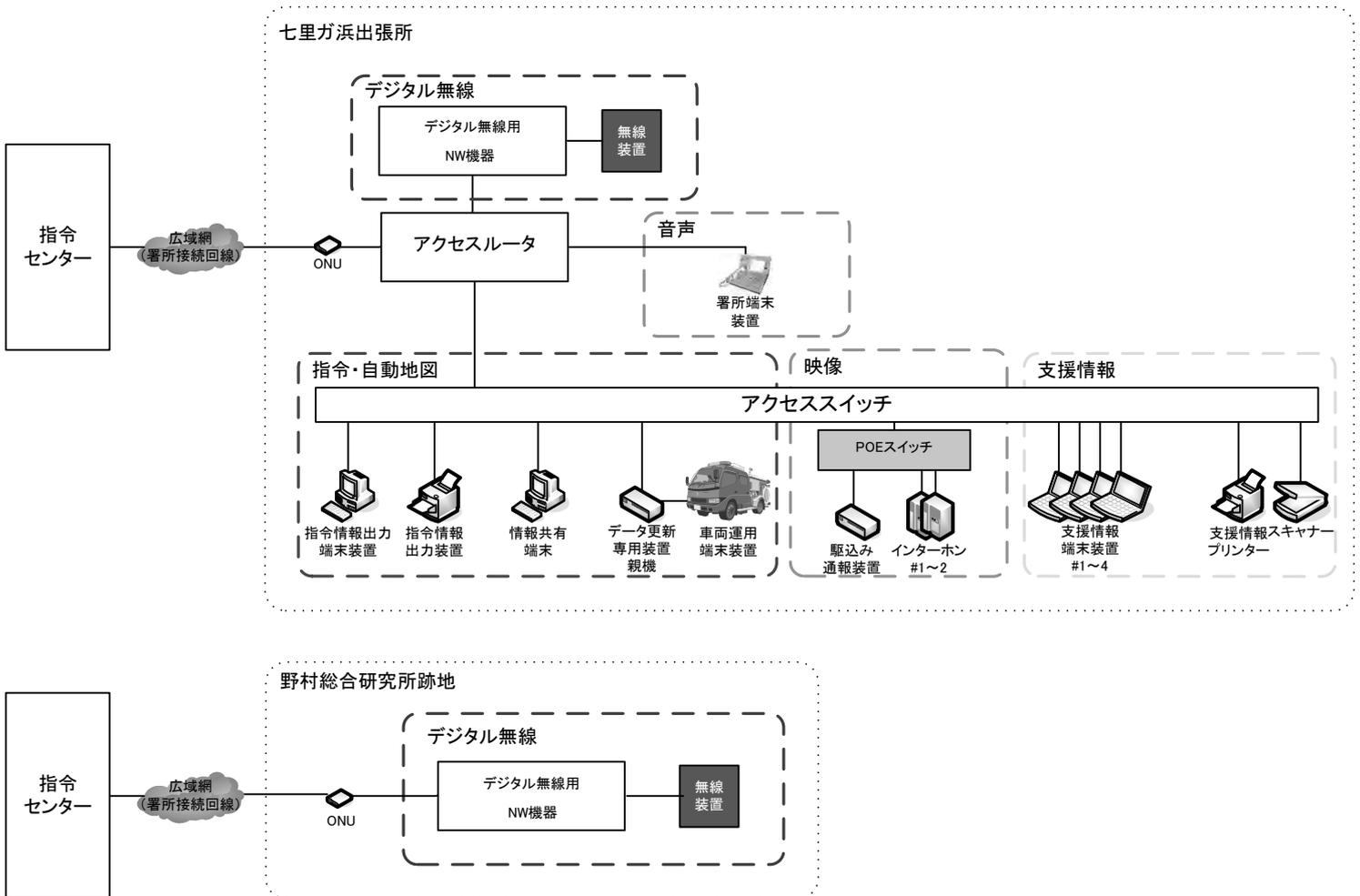
# 高機能消防指令センター ネットワーク図



# 高機能消防指令センター 署所ネットワーク図①



# 高機能消防指令センター 署所ネットワーク図②





# 予 防





## 防火対象物及び防火管理者選任状況

令和3年（2021年）4月1日現在

			消防用設備等設置義務対象数	防火管理者選任状況数		
				選任義務対象数	届出済対象数	選任率 (%)
合 計			4,276	1,265	1,197	94.62%
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1	1	1	100.00%
	ロ	公会堂・集会場	28	16	15	93.75%
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	0	0	0	0.00%
	ロ	遊技場・ダンスホール	5	5	5	100.00%
	ハ	風俗営業等	0	0	0	0.00%
	ニ	カラオケボックス等	2	2	2	100.00%
3	イ	待合・料理店等	2	1	1	100.00%
	ロ	飲食店	250	94	83	88.30%
4		百貨店・マーケット・物品販売業・展示場	132	83	80	96.39%
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	101	18	18	100.00%
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,953	182	172	94.51%
6	イ	(1) 病院	8	8	8	100.00%
		(2) 有床診療所	2	2	2	100.00%
		(3) (1)以外の病院・(2)以外の有床診療所・助産所	5	5	5	100.00%
		(4) その他診療所・その他助産所	32	8	8	100.00%
	ロ	(1) 高齢者施設	53	53	52	98.11%
		(2) 生活保護者施設	0	0	0	0.00%
		(3) 児童施設	0	0	0	0.00%
		(4) 障害児施設	0	0	0	0.00%
		(5) 障害者施設	3	2	2	100.00%
	ハ	(1) 高齢者施設	26	17	17	100.00%
		(2) 生活保護者施設	0	0	0	0.00%
		(3) 児童施設	33	30	30	100.00%
		(4) 障害児施設	1	1	1	100.00%
		(5) 障害者施設	26	3	3	100.00%
	ニ	幼稚園・特別支援学校	19	19	19	100.00%
7		小・中・高・大学・各種学校等	41	41	41	100.00%
8		図書館・博物館・美術館等	12	9	8	88.89%
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	1	0	0	0.00%
	ロ	イ以外の公衆浴場	3	1	1	100.00%
10		車両の停車場等	1	0	0	0.00%
11		神社・寺院・教会等	91	43	43	100.00%
12	イ	工場・作業場	97	23	23	100.00%
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	0	0	0.00%
13	イ	自動車車庫・駐車場	11	0	0	0.00%
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0	0	0	0.00%
14		倉庫	39	2	2	100.00%
15		前各項に該当しない事業場	242	105	100	95.24%
16	イ	複合用途（特定用途を含む）	870	456	422	92.54%
	ロ	イ以外の複合用途	169	22	20	90.91%
17		文化財施設等	17	13	13	100.00%
20		総務省令で定める舟車	0	0	0	0.00%

# 中高層建築物一覽表

令和3年(2021年)4月1日現在

階数 署所別	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	合計
鎌倉	333	123	22	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	481
腰越	63	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76
深沢	104	75	54	7	4	5	1	0	0	0	0	0	0	250
浄明寺	55	17	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	75
七里ガ浜	19	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
大船	331	162	48	36	31	7	5	8	0	0	0	0	0	628
玉縄	64	45	16	3	3	2	4	5	3	1	0	1	1	148
今泉	56	12	3	2	6	2	1	1	0	0	0	0	0	83
合計	1025	449	150	51	45	16	11	14	3	1	0	1	1	1767

※3階:一般住宅を除く

### 建築確認申請消防同意状況(業態別)

令和2年度(2020年度)

業態別		区分	合 件	計 数	新 件	築 数	増 件	築 数	改 件	築 数	移 件	築 数	用途変 更件数	模様替 件数	その他
合 計			407		385	17	0	2	3	0	0				
1	イ	劇場・映画館・演芸場	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂・集会場	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハ	風俗営業等	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	イ	待合・料理店等	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	8		8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4		百貨店・マーケット・物品販売	3		2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	2		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	52		51	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
6	イ	(1) 病院	2		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(2) 有床診療所	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(3) (1)以外の病院・(1)以外の有床診療所・助産所	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(4) その他診療所・その他助産所	1		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	(1) 高齢者施設	5		4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
		(2) 生活保護者施設	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(3) 児童施設	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(4) 障害児施設	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(5) 障害者施設	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハ	(1) 高齢者施設	2		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(2) 生活保護者施設	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(3) 児童施設	2		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(4) 障害児施設	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(5) 障害者施設	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	幼稚園・養護学校	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7		小・中・高・大学・各種学校	5		5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8		図書館・博物館・美術館	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9	イ	公衆浴場のうち・蒸気浴場・熱気浴場	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	イ以外の公衆浴場	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10		車両の停車場	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11		神社・寺院・協会等	5		2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
12	イ	工場・作業場	3		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫・駐車場	2		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飛行機等の格納庫	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	5		5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15	①	官公署	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	②	事務所等	8		6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③	その他	2		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	イ	複合用途(特定用途を含む)	8		7	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	ロ	イ以外の複合防火対象物	5		5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16の2		地下街	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
17		文化財施設等	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
専 用 住 宅			286		275	9	0	2	0	0	0	0	0	0	

### 建築確認申請消防同意状況（月別）

（特殊建築物・住宅）

令和2年度(2020年度)

区分 月別	合計	新築	増築	改築	移転	用途変更	大規模の 修繕	大規模の 模様替	その他
合計	407	386	16	0	2	3	0	0	0
4月	39	38	1	0	0	0	0	0	0
5月	21	19	1	0	1	0	0	0	0
6月	42	42	0	0	0	0	0	0	0
7月	36	33	3	0	0	0	0	0	0
8月	35	35	0	0	0	0	0	0	0
9月	26	23	2	0	0	1	0	0	0
10月	31	31	0	0	0	0	0	0	0
11月	34	32	2	0	0	0	0	0	0
12月	40	35	4	0	1	0	0	0	0
1月	30	28	1	0	0	1	0	0	0
2月	37	36	1	0	0	0	0	0	0
3月	36	34	1	0	0	1	0	0	0

### 建築確認申請消防通知状況

（特殊建築物・住宅・建築設備）

令和2年度(2020年度)

区分	合計	新築	増築	改築	移転	用途変更	大規模の 修繕	大規模の 模様替	その他
合計	592	565	23	0	0	0	1	0	3
指定確認 検査機関	565	542	20	0	0	0	0	0	3
特定 行政庁	27	23	3	0	0	0	1	0	0

### 建築確認申請消防通知状況（月別）

（特殊建築物・住宅・建築設備）

令和2年度(2020年度)

区分 月別	合計	新築	増築	改築	移転	用途変更	大規模の 修繕	大規模の 模様替	その他
合計	592	565	23	0	0	0	1	0	3
4月	38	37	1	0	0	0	0	0	0
5月	40	36	4	0	0	0	0	0	0
6月	41	38	2	0	0	0	1	0	0
7月	34	32	1	0	0	0	0	0	1
8月	70	68	2	0	0	0	0	0	0
9月	48	47	1	0	0	0	0	0	0
10月	52	48	2	0	0	0	0	0	2
11月	58	56	2	0	0	0	0	0	0
12月	54	51	3	0	0	0	0	0	0
1月	41	40	1	0	0	0	0	0	0
2月	41	38	3	0	0	0	0	0	0
3月	75	74	1	0	0	0	0	0	0

## 危険物施設数及び類別状況

令和3年(2021年)4月1日現在

区分		製造所の別	合計	貯蔵所							取扱所				
				屋内貯蔵	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵	給油取扱所	第一種販売	第二種販売	一般取扱所	
施設数計			106	1	23	2	5	18	1	19	1	15	2	0	19
数量別	5倍以下		53	0	11	1	4	9	1	19	0	0	2	0	6
	5倍を超え10倍以下		17	0	3	0	0	5	0	0	1	1	0	0	7
	10倍を超え50倍以下		24	1	9	0	1	4	0	0	0	3	0	0	6
	50倍を超え100倍以下		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100倍を超え150倍以下		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	150倍を超え200倍以下		3	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	200倍を超え1,000倍以下		7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0
	1,000倍を超え5,000倍以下		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5,000倍を超え10,000倍以下		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10,000倍を超えるもの		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
類別	単	第1類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第2類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第3類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	独	第4類	105	1	22	2	5	18	1	19	1	15	2	0	19
		第5類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第6類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混在			1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 危険物施設の許可・完成検査及び廃止届の状況

令和2年度(2020年度)

区分	許可			完成検査			廃止届
	設置	変更(転入)		設置	変更	転入	
		施設	移動タンク常置場所				
合計	3	8	0	1	10	0	3

## 危険物施設管内別状況

令和3年(2021年)4月1日現在

管内別		製造所の別	合計	貯蔵所							取扱所				
				屋内貯蔵	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵	給油取扱所	第一種販売	第二種販売	一般取扱所	
合計			106	1	23	2	5	18	1	19	1	15	2	0	19
鎌倉消防署			15	0	1	1	2	3	0	0	0	3	1	0	4
腰越出張所			3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
深沢出張所			19	0	12	0	0	1	0	1	0	4	0	0	1
長谷出張所			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浄明寺出張所			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
七里ガ浜出張所			5	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
大船消防署			27	1	7	0	2	4	0	1	1	4	1	0	6
玉縄出張所			14	0	1	0	0	6	0	2	0	2	0	0	3
台出張所			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
今泉出張所			23	0	1	1	0	2	1	15	0	1	0	0	2

# 文化財保有社寺等防災施設

令和3年(2021年)4月1日現在

(総数 75対象)

◎印 煙感知器作動により扉が自動閉鎖するもの

区分	警報施設		防 災 施 設					文化財
	自火報	非常ベル	防火水槽	消火栓	消火器	収蔵庫	その他	
妙法寺	○				○			建造物
長勝寺	○		○	○	○			建造物
浄光明寺	○		○	○	○	○		建造物
寿福寺	○				○			建造物
英勝寺	○		○		○			建造物
光明寺	○		○	○	○			建造物
鶴岡八幡宮	○		○	○	○	○	放水銃	建造物
覚園寺	○		○		○			建造物
杉本寺	○			○	○	○		建造物
浄妙寺	○				○	○		収容物
一条恵観山荘	○		○	○	○		ドレンジャー放水銃	建造物
鎌倉宮	○		○		○			収容物
荏柄天神社	○				○		放水銃	建造物
建長寺	○		○	○	○	○		建造物
円覚寺	○			○	○	○	放水銃	建造物
常楽寺	○		○	○	○		放水銃	建造物
熊野神社	○				○			建造物
龍寶寺	○				○			建造物
妙隆寺		○			○			収容物
五所神社					○			収容物
来迎寺(材木座)	○				○			収容物
大町八雲神社					○	○		収容物
妙本寺	○				○	○		建造物
安養院	○				○			収容物
本覚寺	○				○			収容物
薬王寺					○			収容物
蓮乗院		○			○			収容物
海蔵寺			○		○			収容物
教恩寺		○			○			収容物
別願寺					○			収容物
向福寺					○			収容物
九品寺					○			収容物
安国論寺		○			○			収容物
高德院	○			○	○	○		収容物
長谷寺	○		○	○	○	◎		収容物
光則寺	○				○			収容物
御霊神社	○				○	○		収容物

◎印 煙感知器作動により扉が自動閉鎖するもの

区分	警報施設		防 災 施 設					文化財
	自火報	非常ベル	防火水槽	消火栓	消火器	収蔵庫	その他	
法源寺			○		○			収容物
町屋天満宮					○			収容物
青蓮寺	○		○	○	○	○		収容物
大慶寺	○				○			収容物
鎌倉国宝館	○			○	○	◎		収容物
宝戒寺		○	○		○	○		収容物
来迎寺	○				○			収容物
西御門八雲神社					○			収容物
光触寺	○			○	○			収容物
明王院					○	◎		収容物
報国寺	○				○			収容物
瑞泉寺		○		○	○	○		収容物
成就院		○			○			収容物
極楽寺	○				○	○		収容物
成福寺	○				○			収容物
続灯庵		○			○			収容物
松ヶ岡文庫				○	○	○		収容物
東慶寺	○			○	○	◎		収容物
浄智寺	○				○			収容物
円応寺	○			○	○			収容物
正統院					○			収容物
山ノ内八雲神社			○		○			収容物
龍峰院	○				○			収容物
佛日庵	○				○			収容物
白雲庵	○			○	○			収容物
禪居院					○			収容物
明月院					○	○		収容物
光照寺		○			○			収容物
富陽庵		○			○			収容物
黄梅院					○			収容物
帰源院	○				○			収容物
妙高院	○				○			収容物
大船観音寺		○			○			収容物
円光寺	○				○			収容物
白山神社	○				○			収容物
大長寺		○			○			収容物
北野神社								収容物
敵島神社								収容物

## 動力消防ポンプ現有自衛消防隊一覽

令和3年（2021年）4月1日現在

区分 対象物名	種別 型式	車名	ポンプ名	級別	消火剤		隊員数	
					泡原液	消火器	専任	その他
三菱電機(株) 鎌倉製作所	消防 ポンプ車	日野 デュトロ	モリタ	A-2		有 (6 kg)		32
東レ株式会社 基礎研究所	可搬 P456		ラビット	B-3				4
中外製薬株式会社 鎌倉研究所	可搬 P450		ラビット	B-3				10
日本シー・ビー・ ケミカル株式会社	可搬 P455S		ラビット	B-3		有 (6 kg)		7
三菱電機(株)情報 技術総合研究所	可搬 P555A	スバル サンバー	ラビット	B-2		有 (6 kg)		12
デンカ株式会社 大船工場	可搬 P455		ラビット	B-3				6
(株)大倉製作所 大船工場	可搬 P455		ラビット	B-3				13

消防ポンプを保有している自衛消防組織は、7事業所

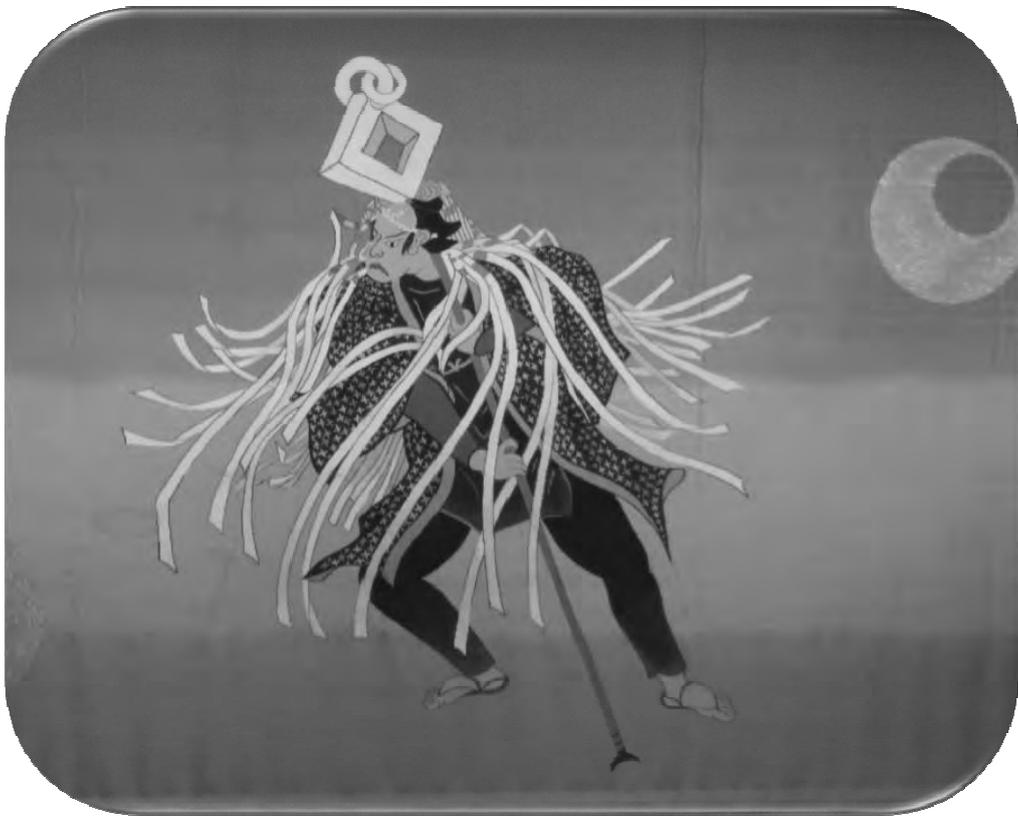
普通消防ポンプ自動車 1台

小型動力ポンプ 6台





# 消防団





# 消 防 団 現 況

令和3年（2021年）4月1日現在

区分	消 防 団 員 現 況								小型動力 ポンプ付 積載車	防 災 資 機 材										
	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員		5tジャン キ	てこ パール	のこぎり 万能おの	投光器 発電機	ホルトク リッパー	チェー ンソー	強 力 ライ ト	ヘッ ド ラ イ ト	デジ タ ル 無 線 機	拡 声 器	ガソ リン 携 行 缶
計	402	1	3	31	28	28	77	234	28	28	28	28	28	28	60	144	128	29	28	239
本団	13	1	3	3	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	4	4	14	1	0	4
第1分団	16	0	0	1	1	1	3	10	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第2分団	15	0	0	1	1	1	3	9	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第3分団	10	0	0	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第4分団	15	0	0	1	1	1	3	9	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第5分団	13	0	0	1	1	1	2	8	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第6分団	14	0	0	1	1	1	3	8	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第7分団	12	0	0	1	1	1	4	5	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第8分団	12	0	0	1	1	1	3	6	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第9分団	11	0	0	1	1	1	1	7	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第11分団	14	0	0	1	1	1	3	8	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第12分団	13	0	0	1	1	1	4	6	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第13分団	8	0	0	1	1	1	3	2	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第14分団	10	0	0	1	1	1	2	5	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第15分団	13	0	0	1	1	1	2	8	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第16分団	13	0	0	1	1	1	2	8	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第17分団	10	0	0	1	1	1	2	5	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第18分団	15	0	0	1	1	1	3	9	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第19分団	14	0	0	1	1	1	2	9	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第20分団	16	0	0	1	1	1	3	10	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	5
第21分団	22	0	0	1	1	1	4	15	1	1	1	1	1	1	2	5	5	1	1	11
第22分団	25	0	0	1	1	1	5	17	1	1	1	1	1	1	2	5	5	1	1	25
第23分団	10	0	0	1	1	1	2	5	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	13
第24分団	14	0	0	1	1	1	3	8	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	14
第25分団	12	0	0	1	1	1	2	7	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	12
第26分団	16	0	0	1	1	1	3	10	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	16
第27分団	16	0	0	1	1	1	3	10	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	16
第28分団	18	0	0	1	1	1	3	12	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	18
第29分団	12	0	0	1	1	1	3	6	1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	1	15

## 消防団員の年齢及び実員

令和3年（2021年）4月1日現在

階級別 年齢	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
平均年齢（歳）	44.8	58.0	56.7	52.3	50.0	49.2	46.6	41.8
18歳以上20歳未満	2	0	0	0	0	0	0	2
20歳以上25歳未満	5	0	0	0	0	0	0	5
25歳以上30歳未満	12	0	0	0	0	0	0	12
30歳以上35歳未満	35	0	0	0	0	2	3	30
35歳以上40歳未満	50	0	0	1	3	1	5	40
40歳以上45歳未満	78	0	0	3	3	2	16	54
45歳以上50歳未満	98	0	0	5	8	6	28	51
50歳以上55歳未満	67	0	1	9	3	12	19	23
55歳以上60歳未満	45	1	1	10	9	5	6	13
60歳以上	10	0	1	3	2	0	0	4
合 計	402	1	3	31	28	28	77	234

## 消防団員の勤続年数

令和3年（2021年）4月1日現在

階級別 年数	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
平均勤続年数（年）	22.7	37.0	32.7	24.5	21.1	19.2	15.5	9.1
5年未満	82	0	0	1	1	1	1	78
5年以上10年未満	81	0	0	0	0	1	14	66
10年以上15年未満	67	0	0	1	5	4	20	37
15年以上20年未満	57	0	0	3	5	6	21	22
20年以上25年未満	61	0	0	12	8	11	13	17
25年以上30年未満	25	0	0	5	6	3	3	8
30年以上	29	1	3	9	3	2	5	6
合 計	402	1	3	31	28	28	77	234

## 消防団員就業状況

令和3年(2021年)4月1日現在

### 【就業場所】

市 内	県 内	県 外	合 計
255 人	101 人	46 人	402 人

### 【就業別】

区 分	雇 用 者	雇 用 の 人 あ る 主 業	雇 用 の 人 な い 主 業	家 族 従 事 者	役 員	そ の 他	合 計
農 業	0	1	5	8	0	0	14
林 業 ・ 狩 猟 業	0	0	1	1	0	0	2
漁 業 水 産 ・ 養 殖 業	2	0	3	5	0	0	10
鉱 業	1	0	0	0	0	0	1
建 設 業	42	9	8	13	2	0	74
製 造 業	44	1	4	7	1	0	57
電 気 ガ ス 水 道 業	7	0	3	4	0	0	14
運 輸 ・ 通 信 業	16	0	2	0	0	0	18
卸 売 業 ・ 小 売 業	24	4	6	25	1	0	60
金 融 ・ 保 険 業	8	3	0	0	0	0	11
不 動 産 業	1	2	1	0	0	0	4
サ ー ビ ス 業	57	9	10	9	2	0	87
公 務 員	10	0	0	0	0	0	10
学 生	0	0	0	0	0	3	3
そ の 他	25	2	0	10	0	0	37
合 計	237	31	43	82	6	3	402

## 消防関係記念日・年中行事

- 1月 6日 . . . . . 消防出初式
- 1月 15日～ 1月 21日 . . . . . 防災ボランティア週間
- 1月 17日 . . . . . 防災ボランティアの日
- 1月 26日 . . . . . 文化財防火デー
- 3月 1日～ 3月 7日 . . . . . 春の全国火災予防運動
- 3月 7日 . . . . . 消防記念日
- 6月 1日 . . . . . 気象記念日
- 6月の第2週（日～土） . . . . . 危険物安全週間
- 7月 1日 . . . . . 国民安全の日
- 8月 30日～9月 9日 . . . . . 防災週間
- 9月 1日 . . . . . 防災の日
- 9月 9日を含む週の日～土 . . . . . 救急医療週間
- 9月 9日 . . . . . 救急の日
- 10月 18日 . . . . . 統計の日
- 11月 5日 . . . . . 津波防災の日
- 11月 9日 . . . . . 119番の日
- 11月 9日～11月15日 . . . . . 秋の全国火災予防運動
- 12月 25日～ 1月3日 . . . . . 年末年始火災特別警戒

---

鎌倉市消防年報 令和2年(2020年)版

令和3年発行

編集・発行 鎌倉市消防本部

〒247-0056 鎌倉市大船三丁目5番10号

電話 0467(44)0119

FAX 0467(45)6665

---